

**Microsoft System Center Operations Manager
向け Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.0
ユーザーズガイド**



メモ、注意、警告

-  **メモ:** コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。
-  **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。
-  **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

著作権 © 2014 Dell Inc. 無断転載を禁じます。 この製品は、米国および国際著作権法、ならびに米国および国際知的財産法で保護されています。Dell™、およびデルのロゴは、米国および/またはその他管轄区域における Dell Inc. の商標です。本書で使用されているその他すべての商標および名称は、各社の商標である場合があります。

2014 - 12

Rev. A00

目次

1 はじめに.....	6
本書で使用される用語.....	6
本リリースの新機能.....	7
Dell Server Management Pack Suite の主要機能.....	7
2 Dell Server Management Pack 機能の概要.....	9
3 エージェントベース監視機能.....	10
拡張可能エディションと詳細エディションの機能の比較.....	10
検出とグループ化.....	10
OpsMgr での Dell サーバーの検出.....	11
エージェントベースの監視機能による検出.....	11
監視.....	12
ビュー.....	12
ユニット監視.....	18
ルール.....	22
タスク.....	24
タスクサマリ.....	24
Dell タスクの実行.....	24
Dell Windows サーバータスク.....	25
レポート.....	30
レポートへのアクセス.....	30
OpenManage Windows イベントログレポートの生成.....	30
BIOS 設定レポートの生成.....	31
ファームウェアおよびドライババージョンレポートの生成.....	31
RAID 設定レポートの生成.....	31
4 エージェントフリー監視機能.....	33
拡張可能エディションと詳細エディションの機能の比較.....	33
検出とグループ化.....	33
エージェントフリー監視機能を使用した Dell サーバーの検出.....	34
Dell エージェントフリー監視機能による検出.....	35
監視.....	35
ビュー.....	35
エージェントフリー監視機能のための Dell ユニット監視.....	39
ルール.....	43
Dell システムイベント処理のルール.....	43
Dell サーバー.....	43


タスク.....	43
タスクサマリ.....	43
Dell エージェントフリー監視機能を使用した Dell タスクの実行.....	43
Dell サーバータスク.....	44
Dell Connections License Manager URL の設定.....	46
5 DRAC 監視機能.....	48
検出とグループ化.....	48
DRAC デバイスの検出.....	48
DRAC 監視機能による検出.....	49
監視.....	49
アラートビュー.....	50
ダイアグラムビュー.....	50
状態ビュー.....	51
DRAC 監視機能のための Dell ユニット監視.....	51
ルール.....	52
Dell システムイベント処理のルール.....	52
DRAC デバイス.....	52
タスク.....	53
タスクサマリ.....	53
DRAC を使用した Dell タスクの実行.....	53
Dell Remote Access Controller (DRAC) タスク.....	53
6 シャーシ監視機能.....	56
検出とグループ化.....	56
シャーシデバイスの検出.....	56
Dell シャーシ監視機能による検出.....	57
監視.....	57
アラートビュー.....	57
ダイアグラムビュー.....	58
状態ビュー.....	59
シャーシ監視機能のための Dell ユニット監視.....	60
ルール.....	61
Dell システムイベント処理のルール.....	61
シャーシデバイス.....	61
タスク.....	62
タスクサマリ.....	62
Dell シャーシを使用した Dell タスクの実行.....	62
Dell シャーシタスク.....	62
7 シャーシモジュラーサーバー関連機能.....	63
シャーシモジュラーサーバー関連機能による検出.....	63


8 Dell Feature Management Dashboard	64
Dell Feature Management Pack による検出.....	64
タスク.....	64
機能管理タスク.....	64
9 関連文書およびリソース	69
Operations Manager のパフォーマンスと拡張性のためのマイクロソフトガイドライン.....	69
その他の必要マニュアル.....	69
デルサポートサイトからの文書へのアクセス.....	70
デルへのお問い合わせ.....	70
10 付録 A – 問題とその解決	71
問題とその解決.....	71
既知の制限.....	73
機能管理アラート.....	73
11 付録 B	76
シンプル認証 Run As アカウントの作成.....	76
エージェントフリー監視機能を使用した Dell サーバー監視のための Run As アカウントの関連 付け.....	76
重要度レベルのインジケータ.....	77
12 付録 C - 外部プログラムの有効化タスク	78
アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成.....	78
License Manager 起動タスクの作成.....	79

はじめに

本書では、Microsoft System Center 2012 R2 Operations Manager、Microsoft System Center 2012 SP1 Operations Manager、Microsoft System Center 2012 Operations Manager、および Microsoft System Center Operations Manager 2007 R2 向けの Dell Server Management Pack Suite version 6.0 で実行することができるアクティビティについて説明しています。

Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.0 の System Center 2012 R2 Operations Manager、System Center 2012 SP1 Operations Manager、System Center 2012 Operations Manager、または System Center Operations Manager 2007 R2 環境との統合により、Dell デバイスの管理、監視の他、可用性の確保が可能になります。


 **注意:** データ破損および/またはデータ損失を避けるため、本書の手順は **Microsoft Windows オペレーティングシステムと System Center 2012 R2 Operations Manager、System Center 2012 SP1 Operations Manager、System Center 2012 Operations Manager、および System Center Operations Manager 2007 R2** の使用における十分な知識と経験をお持ちの場合にのみ実行してください。


 **メモ:** 既知の問題についての情報に加え、ソフトウェアおよび管理サーバー要件の最新情報が記載されている Dell Server Management Pack Suite の readme ファイルをお読みください。readme ファイルは、dell.com/support/manuals の Systems Management マニュアルページに掲載されており、自己解凍型実行可能ファイル `Dell_Server_Management_Pack_Suite_v6.0_A00.exe` にも収録されています。


本書で使用される用語


本書では、次の用語が全体を通じて使用されています。実際用語と適宜置き換えるようにしてください。


 **メモ:** 本書中の OpsMgr という用語は、特に指定のない限り、Microsoft System Center 2012 R2 Operations Manager、Microsoft System Center 2012 SP1 Operations Manager、Microsoft System Center 2012 Operations Manager、および Microsoft System Center Operations Manager 2007 R2 を指して使用されます。


 **メモ:** 本書中の OpsMgr 2012 という用語は、特に指定のない限り、Microsoft System Center 2012 R2 Operations Manager、Microsoft System Center 2012 SP1 Operations Manager、および Microsoft System Center 2012 Operations Manager を指して使用されます。

 **メモ:** 本書中の Dell Remote Access Controller (DRAC) デバイスという用語は、特に指定のない限り、iDRAC6、iDRAC7、および iDRAC8 を指して使用されます。

 **メモ:** 本書中のシャーシデバイスという用語は、特に指定のない限り、Chassis Management Controller (CMC) を指して使用されます。

 **メモ:** 本書中のサーバーという用語は、特に指定のない限り、サーバーおよびラック型ワークステーションを指して使用されます。

 **メモ:** 本書中のエージェントベース監視という用語は、特に指定のない限り、サーバーおよびラック型ワークステーションのエージェントベース監視を指して使用されます。

 **メモ:** 本書中のエージェントフリー監視という用語は、特に指定のない限り、サーバーおよびラック型ワークステーションのエージェントフリー監視を指して使用されます。

本リリースの新機能

Dell Server Management Pack Suite の本リリース新機能は次のとおりです。

- 第 13 世代 Dell PowerEdge サーバーのサポート
- Dell Precision ラック 7910 ワークステーションのサポート
- エージェントフリー監視機能を使用した、CPU、IO、CUPS (1 秒あたりの使用率を計算)、およびメモリのパフォーマンス監視およびビューのサポート
- エージェントフリー監視機能を使用した PCIe SSD のインベントリと正常性監視のサポート
- エージェントフリー監視機能を使用した、iDRAC、ネットワークインタフェースカード (NIC)、ライセンス、物理ディスク、vFlash、および HostNIC 関連のインベントリと正常性監視のサポート
- エージェントベース監視機能を使用した詳細なセンサー監視のサポート
- iDRAC8 のサポート
- OMSA 8.0.1 のサポート
- サーバー帯域内監視機能は、サーバーおよびラック型ワークステーションのエージェントベース監視機能と呼ばれるようになりました。
- サーバー帯域外監視機能は、サーバーおよびラック型ワークステーションのエージェントフリー監視機能と呼ばれるようになりました。
- ビューの変更
 - アラートビュー
 - * サーバーアラートは、サーバーおよびラック型ワークステーションアラートと呼ばれるようになりました。
 - 状態ビュー
 - * 管理対象サーバー (帯域内) は、サーバーおよびラック型ワークステーション (エージェントベース) と呼ばれるようになりました。
 - * 管理対象サーバー (帯域外) は、サーバーおよびラック型ワークステーション (エージェントフリー) と呼ばれるようになりました。
 - * 管理対象外サーバー (帯域外) は、管理対象外サーバー (エージェントフリー) と呼ばれるようになりました。

Dell Server Management Pack Suite の主要機能

本バージョンの Dell Server Management Pack Suite は、Dell デバイスを管理するために次の機能を提供します。

表 1. 機能と機能性

機能	機能性
エージェントベースの検出と監視 - Dell サーバーおよびラック型ワークステーション	対応 Windows オペレーティングシステムおよび対応 Dell OpenManage Server Administrator を実行する Dell PowerEdge、Dell PowerVault モノリシック/モジュラーシステム、および対応 Dell Precision ラックのエージェントベースの検出と監視をサポートします。
エージェントフリーの検出と監視 - Dell サーバーおよびラック型ワークステーション	<p>次をサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 第 12 世代の Dell PowerEdge サーバー、Dell PowerVault システム、対応 Dell Precision ラック、および第 13 世代の Dell PowerEdge サーバーのエージェントフリーの検出および監視。 • エージェントフリー監視システム用の SNMP トラップ。
検出と監視 - シャーシ管理	<p>次をサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Dell シャーシデバイスの検出および監視。 • CMC シャーシのサーバーモジュールとシャーシスロットサマリの検出。 • Dell Chassis デバイス用の SNMP トラップ。
検出と監視 - Dell Remote Access Controller (DRAC)	<p>次をサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 対応 DRAC デバイスの検出と監視。 • DRAC デバイスの SNMP および PET トラップ。
シャーシブレード関連	<p>次をサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Dell サーバーと、CMC シャーシのサーバーモジュールとの関連。 • シャーシ共有ストレージコンポーネントと Dell モジュラーサーバーとの関連。

Dell Server Management Pack 機能の概要

OpsMgr の Dell Server Management Pack Suite では、以下を行うことができます。

- Dell システムの検出と分類 - Dell サーバー（エージェントベースとエージェントフリー監視）、Dell Remote Access Controller (iDRAC6、iDRAC7、および iDRAC8)、Dell シャーシ（Dell PowerEdge FX2、Dell PowerEdge VRTX、Dell PowerEdge M1000e）、および対応 Dell Precision ラック。
- 検出された Dell システムを監視します。
- 検出された Dell システムで様々なタスクを実行します。
- 検出された Dell システムのレポートの表示。

エージェントベース監視機能

エージェントベースの監視機能は、モノリシックおよびモジュラー型 Dell PowerEdge、Dell PowerVault ストレージサーバー、および対応 Windows オペレーティングシステムと OpenManage Server Administrator (OMSA) を実行している対応 Dell Precision Racks の検出と監視をサポートします。対応 OMSA バージョンの詳細については、『Microsoft System Center Operations Manager 用 Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.0 リリースノート』を参照してください。

エージェントベース監視機能は、Dell Server Management Pack Suite インストーラによって自動的にインストールされます。

拡張可能エディションと詳細エディションの機能の比較

次の表は、拡張可能エディションおよび詳細エディション機能を使用することができる環境の理解に役立ちます。

表 2. 拡張可能管理パックと詳細管理パックの違い

機能	拡張可能エディション	詳細エディション
エージェントベースの監視	<ul style="list-style-type: none"> コンポーネントグループのインベントリ及び監視。iDRAC の有無も表示されます。 レポート – OpenManage Windows イベントログレポートのみが使用可能です。 	<ul style="list-style-type: none"> 個々のコンポーネントの詳細インベントリおよび正常性監視を行います。 メモリ、プロセッサ、ネットワークインタフェース、センサー、ストレージコントローラ、ディスク、および仮想ディスクのメトリックスを表示します。また、BIOS 情報も表示されます。 レポート – BIOS 設定、ファームウェアとドライババージョン、および RAID 設定レポートの可用性。

検出とグループ化


Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.0 では、Dell サーバー（モノリシックおよびモジュラー）および対応 Dell Precision ラックの検出と分類が可能です。次の表では、ハードウェア検出およびグループ化の詳細をリストしています。

表 3. Dell ハードウェアの検出とグループ化

グループ	ダイアグラムビュー	ハードウェアタイプ
Dell サーバー	Dell モノリシックサーバー Dell モジュラーサーバー	Dell PowerEdge および PowerVault システム
Dell ラック型ワークステーション	ラック型ワークステーションダイ アグラム	Dell Precision ラック

OpsMgr での Dell サーバーの検出


Dell サーバーは、OpsMgr エージェント管理インフラストラクチャを介して検出されます。

 **メモ:** Dell サーバーは、OpsMgr コンソールの **管理** セクションにある **エージェント管理対象** ビューで検出します。

Dell サーバーを検出するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr 管理者として管理サーバーにログオンします。
2. OpsMgr コンソールで、**管理** をクリックします。
3. ナビゲーションペイン下部の **検出ウィザード** をクリックします。
4. **検出ウィザード** を実行し、**Windows コンピュータ** を選択して、画面上の指示に従います。
詳細に関しては、technet.microsoft.com にある OpsMgr マニュアルを参照してください。

 **メモ:** インストーラは、エージェントベースの監視機能管理パックを OpsMgr に自動的にインポートします。インストーラが管理パックのインストールに失敗した場合は、OpsMgr の **管理パック** の **インポート** ウィザード、または **Feature Management Dashboard** を使用して管理パックをインポートしてください。

 **メモ:** Dell OpenManage Server Administrator (OMSA) がインストールされていない、またはサポートされていない OMSA バージョンがインストールされている Dell サーバーは、Dell 管理対象外としてグループ化されます。

エージェントベースの監視機能による検出

表 4. エージェントベースの監視機能検出

検出	説明
Dell サーバー検出	Dell サーバーを分類し、属性データを投入します。
Dell サーバーネットワークインタフェース検出	ネットワークインタフェースを Dell サーバーのグループレベルで検出します。
Dell サーバーハードウェアコンポーネント検出	グループレベルのハードウェアコンポーネント（センサー、プロセッサ、メモリ、および電源装置）を検出します。
Dell OpenManage Software サービス検出	OpenManage Server Administrator Windows サービスのオブジェクトを検出します。

検出	説明
Dell サーバー BIOS 詳細検出	各 Dell サーバーの BIOS オブジェクトを検出します (詳細エディションのみ)。
Dell サーバーメモリ詳細検出	Dell サーバーのメモリインスタンスを検出します (詳細エディションのみ)。
Dell サーバー電源装置詳細検出	Dell サーバーの電源装置インスタンスを検出します (詳細エディションのみ)。
Dell サーバープロセッサ詳細検出	Dell サーバーのプロセッサインスタンスを検出します (詳細エディションのみ)。
Dell サーバーストレージ詳細検出	Dell サーバーの完全なストレージ階層を検出します (詳細エディションのみ)。
Dell Windows サーバーの詳細センサー検出	Dell サーバーのセンサーインスタンスを検出します (詳細エディションのみ)。
Dell Windows サーバーネットワークインタフェース詳細検出モジュール	Dell サーバーの物理およびチームングされたネットワークインタフェースインスタンスを検出します (詳細エディションのみ)。
Dell Windows サーバーネットワークインタフェースグループ検出モジュール	ネットワークインタフェースグループを検出します。
Dell ラック型ワークステーショングループ検出	Dell ラック型ワークステーショングループを検出します。
Dell 管理対象外サーバーグループ検出	Dell 計装がない、または必須バージョンより前の計装バージョンがあるために監視されていない Dell サーバーを検出します。

監視

OpsMgr の **監視** ペインは、検出された Dell サーバーの完全な正常性情報を表示するビューを選択するために使用されます。[重要度レベルインジケータ](#)は、ネットワーク上の Dell サーバーの正常性を示すために役立ちます。

これには、一定間隔およびイベント発生時の両方における Dell モジュラー/モノリシックサーバー、および Dell Precision ラックとそれらのコンポーネントの正常性の監視が含まれます。

ビュー

Dell Server Management Pack Suite では、OpsMgr コンソールの **Dell** フォルダ下に、次のタイプの監視用ビューが表示されます。

- [アラートビュー](#)
- [ダイアグラムビュー](#)
- [状態ビュー](#)

- [パフォーマンスおよび電源監視ビュー](#)

アラートビュー

このビューは、Dell サーバーおよびラック型ワークステーションからハードウェアおよびストレージイベントを管理するために使用できます。次のアラートが表示されます。

- Dell サーバーおよびラック型ワークステーション用の Dell OpenManage Server Administrator から受信したイベントのアラート。
 - **メモ:** 情報アラートはデフォルトでオフになっています。情報アラートを有効にするには、**Feature Management Dashboard** 上で、エージェントベース監視機能の **情報アラートをオンに設定する** タスクを実行します。
- Broadcom および Intel ネットワークインタフェースカードから受け取ったイベントの リンクアップまたはリンクダウンアラート。

OpsMgr コンソールでのアラートの表示

OpsMgr コンソールでアラートを表示するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールを起動して、**監視** をクリックします。
2. **Dell** → **アラートビュー** とクリックします。

次のアラートが表示されます。

 - **ネットワークインタフェースアラート** – 検出された NIC からのリンクアップおよびリンクダウンアラートが表示されます。
 - **サーバーおよびラック型ワークステーションアラート** – Dell サーバーおよびラック型ワークステーションからの Server Administrator アラートが表示されます。
 - **Dell ラック型ワークステーションのアラートビュー**
 - **ネットワークインタフェースアラート** – 検出された NIC からのリンクアップおよびリンクダウンアラートが表示されます。
 - **ラック型ワークステーションアラート** – Dell ラック型ワークステーションからの Server Administrator アラートが表示されます。
3. 任意の **アラートビュー** を選択します。

各 **アラートビュー** の右ペインに、アラートの重大度、解決状態などのユーザー指定の条件を満たすアラート、またはユーザーに割り当てられたアラートが表示されます。
4. **アラート詳細** ペインで詳細を表示するアラートを選択します。

ダイアグラムビュー

ダイアグラムビュー には、ネットワーク上のすべての Dell サーバーおよび対応ラック型ワークステーションの階層的な図が表示されます。

OpsMgr コンソールでのダイアグラムビューの表示

OpsMgr コンソールでダイアグラムビューを表示するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールを起動して、**監視** → **Dell** → **ダイアグラムビュー** とクリックします。
2. 次のビューの **ダイアグラムビュー** フォルダに移動します。
 - [完全ダイアグラムビュー](#)
 - **Dell ラック型ワークステーションのダイアグラムビュー**
 - [ラック型ワークステーションダイアグラム](#)
 - **Dell サーバーダイアグラムビュー**

- [モジュラーシステムダイアグラム](#)
- [モノリシックサーバーダイアグラム](#)

3. 任意の **ダイアグラムビュー** を選択します。

右側のペインに、選択した Dell サーバーまたはラック型ワークステーションの階層的な図が表示されます。

4. ダイアグラム内のコンポーネントを選択して、**詳細ビュー** ペインに詳細を表示します。

完全ダイアグラムビュー

完全ダイアグラムビュー には、OpsMgr が監視するすべての Dell デバイスが図示されます。このダイアグラムでは、個々のデバイス、およびそれらのコンポーネントのステータスを展開して確認することができます。次に関する詳細を表示できます。

- Dell モジュラーおよびモノリシックサーバー
- Dell ラック型ワークステーション
- Chassis Management Controller
- Remote Access Controller
- Dell 管理対象外システム

モジュラーおよびモノリシックシステム

モジュラーシステムダイアグラム および **モノリシックサーバーダイアグラム** ビューには、次の詳細情報が表示されます。

- 物理インタフェースおよびチーミングされたネットワークインタフェース
- メモリ
- 電源装置
- センサー
- プロセッサ
- Dell OpenManage ソフトウェアサービス
- ストレージコンポーネント
- BIOS (インベントリのみ)
- iDRAC

モジュラーシステムダイアグラム

Dell モジュラーシステムのダイアグラムビュー は、すべての Dell モジュラーシステムのグラフィック描写が表示されます。このビューでダイアグラム内の個々のデバイスやコンポーネントを展開して、そのステータスを確認できます。

モノリシックサーバーダイアグラム

Dell モノリシックシステムのダイアグラムビュー では、すべての Dell モノリシックシステムが図示され、ダイアグラム内の個々のデバイスやコンポーネントを展開して、そのステータスを確認できます。

ラック型ワークステーションダイアグラム

Dell ラックワークステーションダイアグラムビュー には、すべての対応ラック型ワークステーションの図が表示され、ダイアグラム内の個々のデバイスおよびコンポーネントを展開してステータスを確認することができます。ダイアグラムのラックワークステーションを選択して、**詳細ビュー** ペインにその詳細を表示してください。

Dell サーバーインスタンスダイアグラム

Dell サーバーを選択し、**Dell モジュラーシステム** または **Dell モノリシックシステム** のダイアグラムビューから、そのシステムに固有なダイアグラムを表示します。

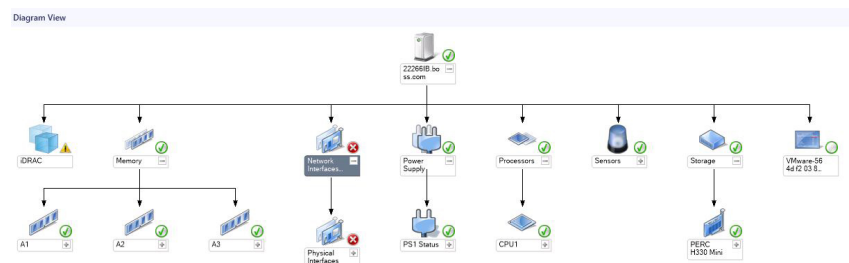


図 1. Dell サーバーインスタンスダイアグラム

システム固有のダイアグラムは、次のコンポーネントのステータスを図示および表示します。

- 物理インタフェースおよびチーミングされたネットワークインタフェース
- メモリ
- 電源装置
- センサー
- プロセッサ
- Dell OpenManage ソフトウェアサービス
- ストレージコンポーネント
- BIOS (インベントリのみ)

エージェントベース監視機能の詳細エディションによって、メモリ、プロセッサ、ネットワーク、センサー、ストレージ、および電源装置コンポーネントの詳細が表示されます。

ストレージコントローラのコンポーネント階層

物理ディスク、コネクタ、仮想ディスク、コントローラ、センサー、エンクロージャなどのコンポーネントの状態と正常性を表示するには、任意の Dell システムインスタンスダイアグラムビューで **ストレージ** コンポーネントを展開します。

ネットワークインタフェースのコンポーネント階層

ネットワークインタフェースグループは、Dell サーバー (エージェントベース) 上に Intel または Broadcom ネットワークインタフェースカードが存在し、有効になっている場合にのみ作成されます。ネットワークインタフェースは、**物理インタフェース** および **チーミングされたインタフェース** にグループ化されています。ネットワークインタフェースを無効にすると、次の検出サイクル時にネットワークインタフェースグループが管理から削除されます。

チーミングされたネットワークインタフェースと、それに関連する物理ネットワークインタフェースの間に、参照関係が作成されます。参照関係は、**Dell Windows Server の物理およびチーミング関係検出** の **参照関係の有効化** 属性が有効になっているときのみ表示できます。詳細に関しては、[参照関係の有効化](#) を参照してください。

相関関係の有効化

相関関係の有効化 属性を有効にするには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールを立ち上げます。
2. ナビゲーションペインで、**オーサリング** をクリックします。
3. **オーサリング** タブで、**管理パックオブジェクト** → **オブジェクト検出** とクリックします。
4. 画面上部にある **スコープ** をクリックします。
スコープ管理パックオブジェクト 画面が表示されます。
5. **次を検索** : フィールドで、Dell Windows Server Physical and Teamed Relationship Discovery Rule を検索します。
6. **Dell Windows サーバー物理関係およびチーミングされた関係の検出ルール** → **上書き** → **オブジェクト検出の上書き** → **クラスの全オブジェクト:チーミングされたネットワークインタフェースインスタンス (エンリッチ)** を右クリックし、とクリックします。
プロパティの上書き ページが表示されます。
7. **相関関係の有効化** を選択して、**上書き値** を **True** に設定し、**OK** をクリックします。

ダイアグラムビューにあるネットワークインタフェースのステータスロールアップは、**ネットワークインタフェース グループ**レベルまでのみが表示されます。例えば、Dell システムの残りのコンポーネントが正常で、1つのみ、または複数のネットワークインタフェースが重要または非重要状態である場合、Dell システムでは正常性状態の正常アイコンが表示され、**ネットワークインタフェース グループ**では重要または警告アイコンが表示されます。

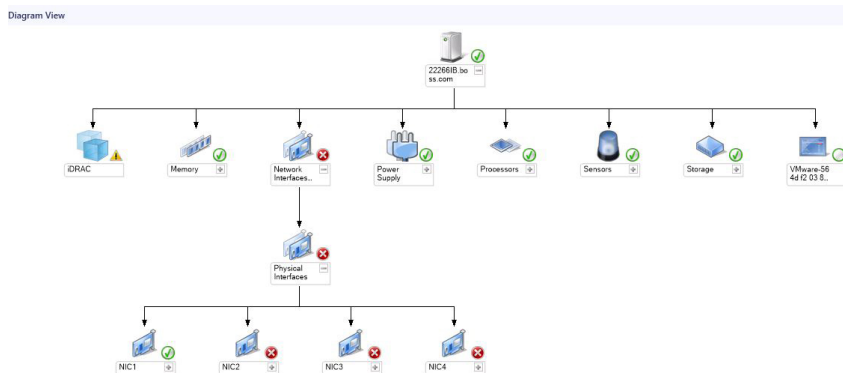


図 2. ネットワークインタフェースのダイアグラムビュー

ネットワークインタフェースグループから Dell サーバーへの正常性ロールアップの有効化

サーバーレベルでのステータスロールアップを表示するには、**ネットワークインタフェースグループから Dell サーバーへの正常性ロールアップ** 依存性監視を有効化する必要があります。

監視を有効化するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールを立ち上げます。
2. ナビゲーションペインで、**オーサリング** をクリックします。
3. 左ペインで **監視** をクリックし、**ネットワークインタフェースグループ監視** を選択します。
4. **エンティティ正常性** → **可用性** とクリックします。
5. **ネットワークインタフェースグループから Dell サーバーへの正常性ロールアップ** を右クリックし、メニューオプションから、**上書き** → **監視の有効化** を選択します。

状態ビュー

このビューは、すべての Dell サーバーとラック型ワークステーションの正常性を表示するために使用できます。OpsMgr コンソールで、**Dell** → **状態ビュー** をクリックすると、ネットワーク上で OpsMgr によって管理されている各 Dell サーバーおよびラック型ワークステーションのステータスが表示されます。

次のデバイスのステータスを表示することができます。


- サーバーおよびラック型ワークステーション (エージェントベース)
- Dell ラック型ワークステーションの状態ビュー
 - 管理対象ラック型ワークステーション (エージェントベース)


コンポーネントの正常性は、コンポーネントに関連付けられた未解決のアラートを確認することによって取得されます。

パフォーマンスおよび電源監視ビュー

パフォーマンスと電源監視を OpsMgr コンソールで表示するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールを起動して、**監視** をクリックします。
2. **監視** ペインで、**Dell** → **パフォーマンスおよび電源監視** をクリックして、以下のビューを表示します。
 - エージェントベースのディスクパフォーマンス (%)
 - 環境温度 (摂氏)
 - アンペア数 (アンペア)
 - エネルギー消費量 (kWh)
 - ピークアンペア数 (アンペア)
 - ピーク電力 (ワット)
 - 物理ネットワークインタフェース
 - 電力消費量 (ワット)
 - 電力消費量 (BTU/時)
 - チェミカルされたネットワークインタフェース

 **メモ:** 電源監視は、特定の属性のための電源監視機能を備えた Dell サーバーのみに該当します。この機能は、エージェントベース監視機能の詳細エディションが存在するときに限り有効になります。

 **メモ:** チェミカルされたネットワークインタフェースおよび物理ネットワークインタフェースのインスタンスは、デフォルトでは無効になっており、エージェントベース監視機能の詳細エディションがインストールおよびインポートされた場合のみ表示されます。

3. 個々のパフォーマンスビューからカウンタを選択し、時間範囲 (必須値) を選択します。
収集されるデータは、各システムについて図形式で表示されます。

ユニット監視は、2つの連続するサイクルでパフォーマンスカウンタを監視し、それがしきい値を超過するかどうかをチェックします。しきい値を超過すると、Dell サーバーが状態を変更してアラートを生成します。このユニット監視はデフォルトで無効になっています。しきい値は、OpsMgr コンソールの **オーサリング** ペインから上書き (有効にして変更) することができます。ユニット監視は、エージェントフリー監視機能では **Dell サーバーオブジェクトの監視** で使用できます。

パフォーマンス情報コレクションの詳細に関しては、[パフォーマンスコレクションルール](#)を参照してください。

ユニット監視

ユニット監視は、監視対象オブジェクト内で発生する可能性のある様々な状況を評価します。この評価の結果が、ターゲットの正常性状態を決定します。

ユニット監視には以下が含まれます。

- **イベント監視** – この監視は Dell 計装が Windows イベントログに記録するイベントによってトリガされ、対応するオブジェクトの正常性を示します。
- **定期監視** – 秒数間隔で設定された定期的なポーリングによってトリガされます。

次の表には、各種 Dell 監視と該当するパラメータが説明されています。

Dell ユニット監視 – 拡張可能エディション

エージェントベース – 拡張可能エディションの監視対象オブジェクトで発生する可能性のある様々な状態を評価するための監視です。

表 5. Dell ユニット監視 – 拡張可能エディション

オブジェクト	ユニット監視
メモリ	
Dell サーバーメモリステータス	イベントおよび定期的監視
Dell サーバーメモリ冗長ステータス	イベントおよび定期的監視
OpenManage Software サービス	
Dell Server Management (DSM) 接続サービス可用性ステータス	定期的
DSM Data Manager 可用性ステータス	定期的
DSM Event Manager 可用性ステータス	定期的
DSM Shared Service 可用性ステータス	定期的
DSM Storage Service 可用性ステータス	定期的
Windows Management Instrumentation (WMI) サービス可用性ステータス	定期的
電源装置	
Dell サーバー電源装置ステータス	イベントおよび定期的監視
プロセッサ	

オブジェクト		ユニット監視
	Dell サーバープロセッサステータス	イベントおよび定期的監視
センサー		
	Dell サーバーバッテリーステータス	イベントおよび定期的監視
	Dell サーバー電流ステータス	イベントおよび定期的監視
	Dell サーバーファンスステータス	イベントおよび定期的監視
	Dell サーバーイントルージョンセンサーステータス	イベントおよび定期的監視
	Dell サーバー温度センサーステータス	イベントおよび定期的監視
	Dell サーバー電圧センサーステータス	イベントおよび定期的監視
ストレージコントローラ		
	ストレージコントローラステータス	イベントおよび定期的監視
ネットワークインタフェースグループ (ベーシック)		
	グローバルネットワークインタフェース (ベーシック) 接続性ステータス	イベントおよび定期的監視
ネットワークインタフェースグループ (エンリッチ)		
	グローバルエンリッチネットワークインタフェースステータス	イベントおよび定期的監視
	グローバルネットワークインタフェース (ベーシック) 接続性ステータス	イベントおよび定期的監視
iDRAC		
	Dell サーバー iDRAC ネットワークインタフェース監視	定期的

Dell ユニット監視 – 詳細エディション

表 6. Dell ユニット監視 – 詳細エディション

オブジェクト		ユニット監視
メモリユニットインスタンス		
	メモリエvent詳細監視	イベントおよび定期的監視

オブジェクト		ユニット監視
	メモリユニット詳細監視	イベントおよび定期的監視
電源装置ユニットのインスタンス		
	電源装置詳細	イベントおよび定期的監視
プロセッサユニットのインスタンス		
	プロセッサ詳細	イベントおよび定期的監視
ストレージコントローラコネクタのインスタンス		
	コントローラコネクタイベント監視	イベントおよび定期的監視
	コントローラコネクタユニット監視	イベントおよび定期的監視
ストレージコントローラ EMM のインスタンス		
	エンクロージャ EMM イベント監視	イベントおよび定期的監視
	エンクロージャ EMM ユニット監視	イベントおよび定期的監視
ストレージコントローラエンクロージャのインスタンス		
	コントローラエンクロージャイベント監視	イベントおよび定期的監視
	コントローラエンクロージャユニット監視	イベントおよび定期的監視
ストレージコントローラ物理ディスクのインスタンス		
	コントローラ物理ディスクイベント監視	イベントおよび定期的監視
	コントローラ物理ディスクユニット監視	イベントおよび定期的監視
	エンクロージャ物理ディスクイベント監視	イベントおよび定期的監視
	エンクロージャ物理ディスクユニット監視	イベントおよび定期的監視
ストレージコントローラ電源装置のインスタンス		
	エンクロージャ電源装置イベント監視	イベントおよび定期的監視
	エンクロージャ電源装置ユニット監視	イベントおよび定期的監視
ストレージコントローラセンサー		
	コントローラセンサーイベントユニット監視	イベントおよび定期的監視

オブジェクト		ユニット監視
	コントローラセンサーユニット監視	イベントおよび定期的監視
ストレージコントローラ仮想ディスクグループ		イベントおよび定期的監視
ストレージコントローラ仮想ディスクのインスタンス		イベントおよび定期的監視
	コントローラ物理ディスクイベント監視	イベント
	コントローラ物理ディスクユニット監視	定期的
ストレージエンクロージャ物理ディスクグループ		イベントおよび定期的監視
ストレージエンクロージャセンサー		
	エンクロージャファンイベントユニット監視	イベントおよび定期的監視
	エンクロージャファンユニット監視	イベントおよび定期的監視
	エンクロージャ温度イベント監視	イベントおよび定期的監視
	エンクロージャ温度ユニット装置	イベントおよび定期的監視
物理ネットワークインタフェースのインスタンス (ベーシック)		
	接続ステータス	イベントおよび定期的監視
物理ネットワークインタフェースのインスタンス (エンリッチ)		
	管理ステータス	イベントおよび定期的監視
	接続ステータス	イベントおよび定期的監視
	リンクステータス	イベントおよび定期的監視
	動作ステータス	イベントおよび定期的監視
チーミングされたネットワークインタフェースのインスタンス (ベーシック)		
	チーミングされたネットワークインタフェース (ベーシック) 可用性ステータス	イベントおよび定期的監視
チーミングされたネットワークインタフェースのインスタンス (エンリッチ)		
	チーミングされたネットワークインタフェースのインスタンス (エンリッチ) 管理ステータス	イベントおよび定期的監視

オブジェクト		ユニット監視
	チーミングされたネットワークインタフェースのインスタンス (エンリッチ) 接続ステータス	イベントおよび定期的監視
	チーミングされたネットワークインタフェースのインスタンス (エンリッチ) リンクステータス	イベントおよび定期的監視
	チーミングされたネットワークインタフェースのインスタンス (エンリッチ) 動作ステータス	イベントおよび定期的監視
	チーミングされたネットワークインタフェースのインスタンス (エンリッチ) 冗長ステータス	イベントおよび定期的監視
ファンセンサー		
	ファンセンサーユニット監視	定期的
電流センサー		
	電流センサーユニット監視	定期的
電圧センサー		
	電圧センサーユニット監視	定期的
バッテリーセンサー		
	バッテリーセンサーユニット監視	定期的
シャーシインテリジョンセンサー		
	シャーシインテリジョンセンサーユニット監視	定期的

ルール

次の項には、Dell エージェントベース監視機能に固有のルールがリストされています。

Dell システムイベント処理のルール

Dell Server Management Pack Suite は、Server Administrator および Server Administrator Storage Management イベントからのルールを処理します。

サーバーシステム管理者

Server Administrator のすべての情報、警告、および重大イベントには、それぞれ該当するイベント処理のルールがあります。

これらの各ルールは、次の条件に基づいて処理されます。

- ソース名 = "Server Administrator"
- イベント ID = Server Administrator 計装イベントの実際のイベント ID
- データプロバイダ = Windows システムのイベントログ

ストレージ管理

Server Administrator Storage Management Service のすべての情報、警告、および重大イベントには、それぞれ該当するイベント処理のルールがあります。

これらの各ルールは、次の条件に基づいて処理されます。

- ソース名 = "Server Administrator"
- Event ID (イベント ID) = Server Administrator Storage Management Service イベントの実際のイベント ID
- データプロバイダ = Windows システムのイベントログ

パフォーマンスコレクションルール


OpsMgr コンソールで、**監視** → **Dell** → **パフォーマンスおよび電源監視ビュー** をクリックして、Dell サーバーから収集されたパフォーマンス情報を表示します。この機能は、デフォルトでは無効になっており、機能の有効化については、[パフォーマンスコレクションルールの有効化](#)を参照してください。

パフォーマンスコレクションルールは、以下のパラメータについての情報を収集します。

- エージェントベースのディスクパフォーマンス (%)
- 環境温度 (セ氏)
- アンペア数 (アンペア)
- エネルギー消費量 (kWh)
- ピークアンペア数 (アンペア)
- ピーク電力 (ワット)
- 物理ネットワークインタフェース
- 電力消費量 (BTU/時)
- 電力消費量 (ワット)
- チェミングされたネットワークインタフェース

メモ:

- エージェントベース監視機能の詳細エディションをインポートすると、無効のパフォーマンス (ネットワークパフォーマンスを除く) コレクションルールがデフォルトで有効になります。
- エージェントベースのディスクパフォーマンス (%) – このビューには Dell サーバー (エージェントベース) のソリッドステートドライブ (SSD) の **残存する定格書き込み耐久性** が表示されます。このデータを表示するには、オブジェクトの **SSD** を検索してください。

 **メモ:** ネットワーク統計は、エージェントベース監視機能の詳細エディションのみで定義されており、デフォルトで無効になっています。この機能を有効化するには、[パフォーマンスコレクションルールの有効化](#)を参照してください。

パフォーマンスコレクションルールの有効化

この機能を有効にするには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールを起動して、**オーサリング** をクリックします。
2. **ルール** をクリックして、パフォーマンスコレクションルールを検索します。
3. 有効にするルールを右クリックします。
例えば、すべての Dell システムのネットワークインタフェースの情報を収集するには、下記のルールに対して手順 4~5 を実行します。
 - 送信されたパケットの総数
 - 受信されたバイト数
 - 受信されたパケット総数
 - 送信されたバイト数
4. **上書き** → **ルールの上書き** → **クラスの全オブジェクト** と選択します。
5. **上書き** を選択し、**上書き値** を **True** にします。
6. **Apply (適用)** をクリックします。

タスク

タスクは、OpsMgr コンソールの **タスク** ペインで使用できます。デバイスまたはコンポーネントを選択すると、関連するタスクが **タスク** ペインに表示されます。

タスクサマリ

Dell タスクの実行

次の表では、OpsMgr 上で実行できる Dell タスクの概要を説明します。

表 7. Dell タスク

タスク	説明
Dell OpenManage Server Administrator の起動	Dell OpenManage Server Administrator を起動します。
Dell OpenManage Power Center の起動	管理サーバー上で Dell OpenManage Power Center コンソールを起動します。
Dell Remote Access Console の起動	エージェントベースで検出された DRAC の DRAC コンソールを起動します。
32 ビット管理サーバーでの Dell License Manager の起動	32 ビットオペレーティングシステムを実行している管理システム上で Dell License Manager を起動します。
64 ビット管理サーバーでの Dell License Manager の起動	64 ビットオペレーティングシステムを実行している管理システム上で Dell License Manager を起動します。

タスク	説明
ESM ログのクリア	選択したシステムの Embedded System Management (ESM) ログの内容をバックアップし、ESM ログファイルをクリアします。
Remote Desktop の起動	選択したシステムのリモートデスクトップを起動します。
電源ステータスのチェック	システムの全体的な電源ステータスを確認します。
強制電源オフ	オペレーティングシステムをシャットダウンせずに、システムの電源をオフにします。
パワーサイクル	電源をオフにして、しばらくしてから電源を再投入します。
正常電源オフ	最初にオペレーティングシステムをシャットダウンしてから、システムの電源をオフにします。
電源オン	システムの電源をオンにします。このオプションは、システムがオフ場合にのみ使用可能です。
電源リセット	システム電源をオフにしてから、再度オンにします。
LED 識別表示オン	選択したシステムの識別 LED を 255 秒間オンにします。
LED 識別表示オフ	選択したシステムの識別 LED をオフにします。
保証情報の取得	<p>選択したシステムの保証情報を取得します。</p> <p> メモ: 保証情報を取得するには、アクティブなインターネット接続が必要です。</p>

Dell Windows サーバータスク

ESM ログのクリア

ハードウェアログとも呼ばれる Server Administrator Embedded Server Management (ESM) ログは、エラー修正コード (ECC)、システムのリセットと起動、およびブローブしきい値の変更など、ハードウェアによって生成されるすべてのシステムイベントのリストを維持します。ハードウェアエラーが表示されたときやシステムが正しく機能しないときなどに、このログを参照できます。

ESM ログのクリア タスクを行うには、次の手順を実行します。


1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell システムを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク** ペインで、**Dell Windows サーバータスク** → **ESM ログのクリア** を選択します。
タスクの実行 ウィンドウが表示されます。
4. **実行** をクリックして、選択したデバイスの ESM ログをクリアします。

ESM ログのクリア タスクを実行すると、タスク実行画面には、開始しているタスクの結果のみが表示されます。例えば、ESM ログがクリアされていない場合でも、タスク実行画面には、成功したという結果が表示されることがあります。これは、**ESM ログのクリア** タスクの開始が成功したことを表しています。

Dell OpenManage Server Administrator の起動

Server Administrator を起動するには、次の手順を実行します。


1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell Windows サーバータスク** → **Server Administrator の起動** と選択します。

 **メモ:** Dell Server Management Pack Suite タスクが Internet Explorer でリモートコンソールを起動します。

Remote Desktop の起動

Remote Desktop を起動するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー** または **状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell Windows サーバータスク** → **リモートデスクトップの起動** を選択します。

 **メモ:** リモートデスクトップの起動は、管理下ノードで Remote Desktop が手動で有効化されている場合にのみ可能です。


Dell Remote Access Console の起動

Dell Remote Access Console を起動するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell Windows サーバータスク** → **Dell Remote Access Console の起動** と選択します。

電源ステータスのチェック

電源ステータスをチェックして、IPMI シェルを介した電源制御タスクを許可します。


 **メモ:** アドバンス電源制御を有効にするには、BMU (Baseboard Management Controller Management Utility) をデフォルトパスにインストールします。BMU がデフォルトパスにインストールされていない場合は、新規コンソールタスクを作成してください。新規コンソールタスクの作成についての詳細は、[アドバンス電源制御と LED 識別タスクの作成](#)を参照して下さい。

システムの電源ステータスをチェックするには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell Windows サーバータスク** → **電源ステータスのチェック** と選択します。

パワーサイクル

パワーサイクル タスクでは、Dell サーバーの電源をオフにした後、間隔をおいて電源オンにすることができます。


 **メモ: アドバンス電源制御** を有効にするには、BMU をデフォルトのパスにインストールします。BMU がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、新規コンソールタスクを作成してください。新規コンソールタスクの作成の詳細については、[アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成](#) を参照して下さい。

パワーサイクルを行うには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、**ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. タスク ペインで、**Dell Windows サーバータスク** → **パワーサイクル** と選択します。

強制電源オフ

強制電源オフ タスクでは、オペレーティングシステムをシャットダウンせずに Dell サーバーの電源をオフにすることができます。


 **メモ: アドバンス電源制御** を有効にするには、BMU をデフォルトのパスにインストールします。BMU がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、新規コンソールタスクを作成してください。新規コンソールタスクの作成の詳細については、[アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成](#) を参照して下さい。

システムの電源を切るには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. タスク ペインで **Dell Windows サーバータスク** → **強制電源オフ** と選択します。

正常電源オフ

正常電源オフ タスクでは、オペレーティングシステムをシャットダウンして Dell サーバーの電源をオフにすることができます。


 **メモ: アドバンス電源制御** を有効にするには、BMU をデフォルトのパスにインストールします。BMU がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、新規コンソールタスクを作成してください。新規コンソールタスクの作成の詳細については、[アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成](#) を参照して下さい。

システムの電源を正常に切るには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. タスク ペインで、**Dell Windows サーバータスク** → **正常電源オフ** と選択します。

電源オン

電源オン タスクでは、サーバーの電源をオンにすることができます。このオプションは、システムの電源がオフになっている場合でも使用可能です。


-  **メモ: アドバンス電源制御** を有効にするには、BMU をデフォルトのパスにインストールします。BMU がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、新規コンソールタスクを作成してください。新規コンソールタスクの作成の詳細については、[アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成](#)を参照して下さい。

システムの電源をオンにするには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell Windows サーバータスク** → **電源オン** と選択します。

電源リセット

電源リセット タスクでは、Dell サーバーの電源をオフにしてから電源をオンにすることができます。


-  **メモ: アドバンス電源制御** を有効にするには、BMU をデフォルトのパスにインストールします。BMU がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、新規コンソールタスクを作成してください。新規コンソールタスクの作成の詳細については、[アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成](#)を参照して下さい。

システムの電源をリセットするには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell Windows サーバータスク** → **電源リセット** と選択します。

LED 識別表示オン

LED 識別表示オン タスクでは、選択した Dell サーバー上の LED 識別表示をオンにすることができます。


-  **メモ: アドバンス電源制御** を有効にするには、BMU をデフォルトのパスにインストールします。BMU がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、新規コンソールタスクを作成してください。新規コンソールタスクの作成の詳細については、[アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成](#)を参照して下さい。

LED 識別表示をオンにするには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell Windows サーバータスク** → **LED 識別表示をオンにする** と選択します。

LED 識別表示オフ

LED 識別表示オフ タスクでは、選択した Dell サーバー上の LED 識別表示をオフにすることができます。


-  **メモ: アドバンス電源制御** を有効にするには、BMU をデフォルトのパスにインストールします。BMU がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、新規コンソールタスクを作成してください。新規コンソールタスクの作成の詳細については、[アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成](#)を参照して下さい。

LED 識別表示をオフにするには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell Windows サーバータスク → LED 識別表示をオフにする** と選択します。

保証情報の取得


保証情報の取得 タスクでは、選択した Dell サーバーの保証ステータスを表示することができます。

 **メモ:** 保証情報を取得するには、アクティブなインターネット接続が必要です。

保証情報を取得するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell Windows サーバータスク → 保証情報の取得** と選択します。

Dell OpenManage Power Center の起動

 **メモ:** OpenManage Power Center の起動は、管理下ノードに Windows または Linux オペレーティングシステムと OpenManage Server Administrator がインストールされている場合にものみ可能です。


Dell OpenManage Power Center の起動 タスクでは、OpenManage Power Center コンソールを起動できません。

Dell OpenManage Power Center を起動するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell サーバータスク → Dell OpenManage Power Center の起動** と選択します。

X32 ビット管理サーバーでの Dell License Manager の起動

X32 ビット管理サーバーでの Dell License Manager の起動 タスクは、32 ビットオペレーティングシステムを実行している管理サーバー上で Dell License Manager を起動することを可能にします。Dell License Manager は、Dell iDRAC ライセンス用の 1 対多ライセンス展開および報告ツールです。


 **メモ:** Dell License Manager がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、Dell License Manager を起動するための新しいタスクを作成します。詳細に関しては、[License Manager 起動タスクの作成](#)を参照してください。

Dell License Manager を起動するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell Windows Server タスク → X32 ビット管理サーバーで Dell License Manager を起動** と選択します。

X64 ビット管理サーバーでの Dell License Manager の起動

X64 ビット管理サーバーでの Dell License Manager の起動 タスクでは、64 ビットオペレーティングシステムを実行している管理システム上で Dell License Manager を起動することができます。Dell License Manager は、Dell iDRAC ライセンス用の 1 対多ライセンス展開および報告ツールです。


 **メモ:** Dell License Manager がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、Dell License Manager を起動するための新しいタスクを作成します。詳細に関しては、[License Manager 起動タスクの作成](#)を参照してください。

Dell License Manager を起動するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell Windows サーバータスク** → **X64 ビット管理サーバーで Dell License Manager を起動** と選択します。

レポート

レポート機能では、Dell OpenManage Windows イベントログ、Dell サーバー BIOS、ファームウェア、および RAID 設定についてのレポートを作成できます。

 **メモ:** Dell サーバー BIOS、ファームウェア、および RAID 設定のレポートは、サーバー（エージェントベース）管理パックの詳細エディションのみで使用可能です。

レポートへのアクセス

レポートにアクセスするには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで **レポート** をクリックします。
2. Windows イベントログの場合は **Dell Windows サーバー（拡張可能エディション）** をクリックし、BIOS、ファームウェア、およびドライバのバージョン、RAID のレポートの場合は **Dell Windows サーバー（詳細エディション）** をクリックします。

また、サーバーインスタンスをクリックすることによって、**ダイアグラムビュー** または **状態ビュー** から **レポート** にアクセスすることもできます。**Dell レポート** のオプションは、デフォルトの Microsoft レポートと共に Dell システムインスタンス下の **タスク ペイン** にあります。


OpenManage Windows イベントログレポートの生成

OpenManage Windows イベントログのレポートを生成するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、**レポート** をクリックします。
2. **Dell Windows Server（拡張可能エディション）** をクリックします。
3. **OpenManage Windows イベントログ** をクリックして、**タスク ペインの開く** をクリックします。
4. 生成するレポートの対象期間を選択します。
5. **オブジェクトの追加** をクリックします。
6. Dell Windows Server クラスのオブジェクトを検索し、**追加** をクリックします。
選択されたオブジェクト ペインにオブジェクトが表示されます。
7. 生成するレポートの対象となるイベントの **重要度** を選択します。

8. **実行** をクリックします。
OpenManage Windows イベントログ レポートが生成されます。

BIOS 設定レポートの生成

 **メモ:** BMC レポートは、管理サーバーに BMU がインストールされている場合にのみ作成できます。

BIOS 設定のレポートを作成するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、**レポート** をクリックします。
2. **Dell Windows Server (詳細エディション)** をクリックします。
3. **BIOS 設定** をクリックして、**タスク ペインの 開く** をクリックします。
4. 生成するレポートの対象期間を選択します。
5. **オブジェクトの追加** をクリックします。
6. Dell Windows Server クラスのオブジェクトを検索し、**追加** をクリックします。
選択されたオブジェクト ペインにオブジェクトが表示されます。
7. 必要とする **プロパティ** を選択します。
8. **実行** をクリックします。
BIOS 設定 レポートが生成されます。

ファームウェアおよびドライババージョンレポートの生成

ファームウェアおよびドライババージョンのレポートを作成するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、**レポート** をクリックします。
2. **Dell Windows Server (詳細エディション)** をクリックします。
3. **ファームウェアとドライババージョン** をクリックし、**タスク ペインで 開く** をクリックします。
4. 生成するレポートの対象期間を選択します。
5. **オブジェクトの追加** をクリックします。
6. Dell Windows Server クラスのオブジェクトを検索し、**追加** をクリックします。
選択されたオブジェクト ペインにオブジェクトが表示されます。
7. **実行** をクリックします。
ファームウェアとドライババージョン のレポートが生成されます。

RAID 設定レポートの生成

RAID 設定のレポートを作成するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、**レポート** をクリックします。
2. **Dell Windows サーバー (詳細エディション)** をクリックします。
3. **RAID 設定** をクリックして、**タスク ペインの 開く** をクリックします。
4. 生成するレポートの対象期間を選択します。
5. **オブジェクトの追加** をクリックします。
6. Dell Windows Server クラスのオブジェクトを検索し、**追加** をクリックします。
選択されたオブジェクト ペインにオブジェクトが表示されます。
7. 必要とする **プロパティ** を選択します。
8. **実行** をクリックします。

RAID 設定 レポートが生成されます。

エージェントフリー監視機能

エージェントフリー監視機能は、WSMAN および SNMP を使用した Dell PowerEdge モノリシックサーバー、Dell PowerEdge モジュラーサーバー、Dell PowerVault ストレージサーバーの検出および監視をサポートします。

拡張可能エディションと詳細エディションの機能の比較

次の表は、拡張可能エディションおよび詳細エディション機能を使用することができる環境の理解に役立ちます。

表 8. 拡張可能管理パックと詳細管理パックの違い

機能	拡張可能エディション	詳細エディション
エージェントフリー監視機能	<ul style="list-style-type: none"> 個々のコンポーネントレベルでのインベントリ。 サーバー、ラック型ワークステーション、およびコンポーネントグループレベルでの正常性監視。 	<ul style="list-style-type: none"> 個々のコンポーネントのインベントリおよび正常性監視。 電源、温度のメトリックス、およびネットワークインタフェースカード、プロセッサ、メモリ、CUPS（1秒あたりの使用率の計算）、PCIe SSD 摩耗率、および IO パフォーマンスメトリックの表示。

検出とグループ化

Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.0 は、Dell サーバーの検出および分類を可能にします。

次の表は、Dell エージェントフリー監視機能によるハードウェア検出とグループ化の詳細をリストしています。

表 9. Dell ハードウェアの検出とグループ化

グループ	ダイアグラムビュー	ハードウェアタイプ
Dell サーバー	Dell モノリシックサーバー Dell モジュラーサーバー	Dell PowerEdge システム Dell PowerVault ストレージサーバー
Dell ラック型ワークステーション	ラック型ワークステーションダイアグラム	Dell Precision ラック

エージェントフリー監視機能を使用した Dell サーバーの検出


 **メモ:** Microsoft SMASH Library (MPB) ファイルがインストールされている必要があります。Microsoft SMASH Library (MPB) のインストールについての詳細は、dell.com/support/manuals で『Microsoft System Center Operations Manager 向け Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.0 インストールガイド』の「WS 管理および SMASH デバイステンプレートのインストール」の項を参照してください。

エージェントフリー監視機能を使用して Dell サーバーを検出するには、次の手順を行います。

1. OpsMgr 管理グループの管理者として OpsMgr 2012 にログオンします。
2. OpsMgr コンソールで、**オーサリング** をクリックします。
3. ナビゲーションペイン下部で **監視の追加ウィザード** をクリックします。
監視の追加ウィザード 画面が表示されます。
4. **監視タイプの選択** 画面で、**WS-Management** と **SMASH デバイス検出** を選択して、**次へ** をクリックします。
5. **一般プロパティ** 画面の **名前** フィールドに、ウィザードの名前を入力します。
6. **管理パック** で、**新規** をクリックします。
管理パックの作成 画面が表示されます。
7. **名前** フィールドで管理パックの名前を入力して、**新規** をクリックします。
管理パックの作成についての情報は、technet.microsoft.com にある OpsMgr マニュアルを参照してください。
8. **作成** をクリックします
管理パック ドロップダウンボックスで、作成された管理パックが選択されています。
9. **次へ** をクリックします。
10. **ターゲットの指定** ドロップダウンメニューで、エージェントフリーデバイスの監視のためのリソースプールを選択して、**次へ** をクリックします。
11. **検出の実行のために使用されるアカウントの指定** 画面で **新規** をクリックし、シンプル認証の Run As アカウントを作成します。
シンプル認証タイプの Run As アカウントの作成の詳細については、「[シンプル認証 Run As アカウントの作成](#)」を参照してください。
12. **Run As アカウント** ドロップダウンメニューから作成した Ran As アカウントを選択して、**次へ** をクリックします。
13. **追加** をクリックします。
14. **デバイスの追加** 画面で、エージェントフリー監視機能を使用して監視するシステムの iDRAC IP アドレスを指定します。システムの iDRAC IP アドレスは次の方法で指定できます。
 - 提供した **IP サブネット** をスキャンする。
 - 指定された **IP 範囲** をスキャンする。
 - iDRAC IP アドレスのリストを含むテキストファイルをインポートする。
15. **詳細オプション** をクリックし、**CA チェックを省略** および **CN チェックを省略** オプションを選択して、**OK** をクリックします。
16. **デバイスのスキャン** をクリックして、ネットワーク上の Dell サーバーを検索します。
IP アドレスが **使用可能デバイス** にリストされます。
17. **追加** をクリックして、監視する IP アドレスのリストを追加し、**OK** をクリックします。
18. **監視するデバイスの指定** 画面で、**作成** をクリックします。
19. **閉じる** をクリックします。


スキャンされた Dell サーバーは当初**監視 → WS-Management と SMASH 監視 → WS-Management デバイス状態** 画面に表示されます。自動でトリガされた OpsMgr による SMASH 検出が完了すると、Dell サーバーが**監視 → WS-Management と SMASH 監視 → SMASH デバイス状態**画面に表示されます。

20. 必要な管理パックをインポートするか、**Feature Management Dashboard** を使用してエージェントフリー監視機能を有効にします。

 **メモ:** エージェントフリー監視機能を使用して Dell サーバーを検出する前に、Dell Connections License Server の URL を設定してセットアップしておく必要があります。詳細に関しては、[Dell Connections License Manager URL の設定](#)を参照してください。

Dell エージェントフリー監視機能による検出

表 10. Dell エージェントフリー監視機能の検出

検出オブジェクト	説明
Dell サーバー検出	Dell サーバーを分類し、重要な属性およびコンポーネントにデータを投入します
Dell Device Helper 検出	DellDeviceHelper をオブジェクトとして検出します。
Dell ホスト NIC 関連検出	<p>ホスト NIC インタフェースと物理インターフェイスを関連させます。</p> <p> メモ: チェーミングされたネットワークインタフェースは、チーム内の NIC を 1 つだけ表示します。</p>

監視

Dell Server Management Pack Suite のインストール後、OpsMgr の **監視** ペインを使用して、検出された Dell サーバーの正常性情報を表示するビューを選択できます。サーバー帯域外監視機能は、Dell サーバーの正常性を検出および監視します。[重要度レベルインジケータ](#)は、ネットワーク上の Dell サーバーの正常性を示します。これには、一定間隔およびイベント発生時における Dell モジュラーシステム、モノリシックシステム、および対応 Dell Precision ラックとそれらのコンポーネントの正常性の監視が含まれています。

エージェントベース監視機能およびエージェントフリー監視機能によって監視されるシステムコンポーネントはまったく同じではないため、エージェントベース (OMSA) およびエージェントフリー (iDRAC) メソッドで表示されたサーバー全般の正常性が異なる場合もあります。そのような相違が確認された時は、特定のコンポーネントステータスにドリルダウンしてシステムコンポーネントの特定の問題状態を解決し、サーバー全般の正常性を **OK** 状態に戻します。

ビュー

Dell Server Management Pack Suite では、OpsMgr コンソールの **Dell** フォルダ下に、次のタイプの監視用ビューが表示されます。

- [アラートビュー](#)
- [ダイアグラムビュー](#)
- [状態ビュー](#)
- [パフォーマンスおよび電源監視ビュー](#)

アラートビュー

このビューは、Dell サーバとラック型ワークステーションからハードウェアおよびストレージイベントを管理するために使用できます。エージェントフリー監視機能により、次のアラートとトラップが表示されます。

- Dell PowerEdge、PowerVault システム、および Dell Precision ラックの Broadcom および Intel ネットワークインタフェースカードから受け取ったイベントに対するリンクアップまたはリンクダウンアラート。
- Dell サーバーおよびラック型ワークステーションに対するプラットフォームイベントトラップ (PET)。

OpsMgr コンソールでのアラートの表示

OpsMgr コンソールでエージェントフリー監視機能のアラートを表示するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールを起動して、**監視** をクリックします。
2. **Dell** → **アラートビュー** とクリックします。
次の **アラートビュー** が表示されます。
 - **サーバーおよびラック型ワークステーションアラート** : iDRAC7 または iDRAC8 装備の第 12 および 13 世代の Dell PowerEdge サーバー、PowerVault ストレージサーバー、および Dell Precision ラックの SNMP トラップが表示されます。
 - **Dell ラック型ワークステーションのアラートビュー**
 - **ラック型ワークステーションのアラート**
3. **サーバーおよびラック型ワークステーションのアラート** または **ラック型ワークステーションのアラート** を選択します。
各 **アラートビュー** の右ペインに、アラートの重要度、解決状態などのユーザー指定の条件を満たすアラート、またはユーザーに割り当てられたアラートが表示されます。
4. **アラート詳細** ペインで詳細を表示するアラートを選択します。

ダイアグラムビュー

ダイアグラムビュー には、ネットワーク上のすべての Dell サーバーおよび対応ラック型ワークステーションの階層的な図が表示されます。

OpsMgr コンソールでのダイアグラムビューの表示

OpsMgr コンソールでエージェントフリー監視ダイアグラムビューを表示するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールを起動して、**監視** → **Dell** → **ダイアグラムビュー** とクリックします。
2. 次のビューについては、**ダイアグラムビュー** に移動します。
 - [完全ダイアグラムビュー](#)
 - **Dell ラック型ワークステーションダイアグラムビュー**
 - [ラック型ワークステーションダイアグラム](#)
 - **Dell サーバーダイアグラムビュー**
 - [モジュラーシステムダイアグラム](#)
 - [モノリシックサーバーダイアグラム](#)
3. 任意の **ダイアグラムビュー** を選択します。
右側のペインに、選択した Dell デバイスの階層的な図が表示されます。
4. ダイアグラム内のコンポーネントを選択して、**詳細ビュー** ペインに詳細を表示します。

モジュラーおよびモノリシックシステム

モジュラーシステムダイアグラム および モノリシックサーバーダイアグラム ビューには、次の詳細情報が表示されます。

- 物理ネットワークインターフェース
- メモリ
- 電源装置
- センサー
- プロセッサ
- ストレージコンポーネント
- BIOS (インベントリのみ)
- iDRAC NIC
- ホスト NIC
- SD カード
- ライセンス

モジュラーシステムダイアグラム

Dell モジュラーシステムのダイアグラムビューは、すべての Dell モジュラーシステムのグラフィック描写が表示されます。このビューでダイアグラム内の個々のデバイスやコンポーネントを展開して、そのステータスを確認できます。

モノリシックサーバーダイアグラム

Dell モノリシックシステムのダイアグラムビューでは、すべての Dell モノリシックシステムが図示され、ダイアグラム内の個々のデバイスやコンポーネントを展開して、そのステータスを確認できます。

ラック型ワークステーションダイアグラム

Dell ラックワークステーションダイアグラムビューには、すべての対応ラック型ワークステーションの図が表示され、ダイアグラム内の個々のデバイスおよびコンポーネントを展開してステータスを確認することができます。ダイアグラムのラックワークステーションを選択して、**詳細ビュー** ペインにその詳細を表示してください。

Dell サーバーインスタンスダイアグラム

Dell サーバーを選択し、**Dell モジュラーシステム** または **Dell モノリシックシステムのダイアグラム** ビューから、その特定システムに固有のダイアグラムを表示します。

システム固有のダイアグラムは、次のコンポーネントのステータスを図示および表示します。

- 物理インターフェース
- メモリ
- 電源装置
- センサー
- プロセッサ
- ストレージコンポーネント
- ホスト NIC
- ライセンス
- PCIe/ SSD

- SD カード
- BIOS (インベントリのみ)
- iDRAC NIC

ストレージコントローラのコンポーネント階層

物理ディスク、コネクタ、仮想ディスク、コントローラ、センサー、エンクロージャなどのコンポーネントの状態と正常性を表示するには、任意の Dell システムインスタンスダイアグラムビューで **ストレージ** コンポーネントを展開します。

状態ビュー

このビューは、すべての Dell サーバーと対応ラック型ワークステーションの正常性を表示するために使用できます。OpsMgr コンソールで、**Dell** → **状態ビュー** をクリックすると、ネットワーク上で OpsMgr によって管理されている各 Dell サーバーおよびラック型ワークステーションのステータスが表示されます。

次のグループのステータスを表示することができます。

- **サーバーおよびラック型ワークステーション (エージェントフリー)**
- **Dell ラック型ワークステーションの状態ビュー**
 - 管理対象ラック型ワークステーション (エージェントフリー)
- **Dell サーバー状態ビュー**
 - 管理対象外サーバー (エージェントフリー)

コンポーネントの正常性は、そのコンポーネントに関連付けられた未解決のアラートを見直すことにより取得されます。[重大度レベルインジケータ](#)では、Server Management Pack Suite が対応する重大度レベルと共に使用する様々な状態のコンポーネントについて説明しています。

パフォーマンスおよび電源監視ビュー

パフォーマンスと電源監視を OpsMgr コンソールで表示するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールを起動して、**監視** をクリックします。
2. **監視** ペインで、**Dell** → **パフォーマンスおよび電源監視** をクリックして、以下のビューを表示します。
 - エージェントフリーのディスクパフォーマンス (%)
 - **Dell パフォーマンスビュー**
 - システム基板の使用率
 - CPU 使用率 (%)
 - IO 使用率 (%)
 - メモリ使用率 (%)
 - システム全体の使用率 (%)



メモ: エージェントフリー監視機能では、すべてのパフォーマンスメトリックルールがデフォルトで無効になっています。

3. 個々のパフォーマンスビューからカウンタを選択し、時間範囲 (必須値) を選択します。
収集されるデータは、各システムについて図形式で表示されます。

ユニット監視は、2 つの連続するサイクルでパフォーマンスカウンタを監視し、それがしきい値を超過するかどうかをチェックします。しきい値を超過すると、サーバーが状態を変更してアラートを生成します。このユニット監視はデフォルトで無効になっています。しきい値は、OpsMgr コンソールの **オーサリング** ペイ

ンから上書き（有効にして変更）することができます。ユニット監視は、エージェントフリー監視機能では Dell サーバーオブジェクトの監視で使用できます。

エージェントフリー監視機能のための Dell ユニット監視

エージェントフリー監視対象オブジェクトで発生する可能性があるさまざまな状況を評価するための監視です。

表 11. エージェントフリー監視機能のための Dell ユニット監視

オブジェクト	ユニット監視
Dell サーバー	
Dell サーバー Run As アカウント関連	定期的
Dell サーバーユニット監視	定期的
Dell サーバーメモリ	
Dell サーバーメモリユニット	定期的
Dell サーバーメモリグループ	
Dell サーバーメモリグループ	定期的
Dell サーバー電源装置	
Dell サーバー電源装置ユニット	定期的
Dell サーバー電源装置グループ	
Dell サーバー電源装置グループ	定期的
Dell サーバープロセッサ	
Dell サーバープロセッサ	定期的
Dell サーバープロセッサグループ	
Dell サーバープロセッサグループ	定期的
Dell ストレージコントローラ	
Dell サーバーストレージコントローラ	定期的
Dell サーバーコントローラバッテリー	
Dell サーバーコントローラバッテリーユニット	定期的

オブジェクト	ユニット監視
Dell バッテリセンサー	
Dell サーバースタットセンサーの正常性	定期的
Dell バッテリセンサーグループ	
Dell サーバースタットグループセンサーの正常性	定期的
Dell 電流センサー	
Dell サーバースタットセンサーの正常性	定期的
Dell ファンセンサー	
Dell サーバースタットセンサーの正常性	定期的
Dell ファンセンサーグループ	
Dell サーバースタットグループセンサーの正常性	定期的
Dell インテリジェンセンサー	
Dell サーバースタットセンサーの正常性	定期的
Dell モジュラブレードサーバー (オペレーティングシステムあり)	
Dell サーバースタット アカウント関連	定期的
Dell サーバースタット監視	定期的
Dell モジュラブレードサーバー (オペレーティングシステムなし)	
Dell サーバースタット アカウント関連	定期的
Dell サーバースタット監視	定期的
Dell モノリシックサーバー (オペレーティングシステムあり)	
Dell サーバースタット アカウント関連	定期的
Dell サーバースタット監視	定期的
Dell モノリシックサーバー (オペレーティングシステムなし)	
Dell サーバースタット アカウント関連	定期的

オブジェクト	ユニット監視
Dell サーバーユニット監視	定期的
Dell ネットワークインタフェースグループ	
Dell サーバーネットワークインタフェースグループ	定期的
Dell iDRAC ネットワークインタフェース	
Dell サーバー iDRAC ネットワークインタフェースユニット	定期的
Dell サーバーホスト NIC	
Dell サーバーホスト NIC	定期的
Dell サーバーライセンス	
Dell サーバーライセンス	定期的
Dell サーバーライセンスグループ	
Dell サーバーライセンスグループ	定期的
物理ネットワークインタフェース	
Dell サーバーネットワークインタフェースユニット	定期的
PCIe SSD バックプレーン	
Dell サーバー PCIe SSD バックプレーン	定期的
PCIe SSD エクステンダ	
Dell サーバー PCIe SSD エクステンダ	定期的
PCIe SSD 物理ディスク	
Dell サーバー PCIe SSD 物理ディスクの予測障害ディスク	定期的
Dell サーバー PCIe SSD 物理ディスクのプライマリステータス	定期的
Dell サーバー SD カード	
Dell サーバー SD カード	定期的

オブジェクト		ユニット監視
	Dell サーバー SD カードグループ	定期的
Dell サーバーコネクタエンクロージャ		
	Dell サーバーコネクタエンクロージャ	定期的
Dell ストレージコントローラエンクロージャ EMM		
	Dell サーバーエンクロージャ EMM	定期的
Dell ストレージコントローラエンクロージャファンセンサー		
	Dell サーバーエンクロージャファンセンサー	定期的
Dell ストレージコントローラエンクロージャ物理ディスク		
	Dell サーバーエンクロージャ外部物理ディスク	定期的
Dell ストレージコントローラエンクロージャ電源装置		
	Dell サーバーエンクロージャ電源装置	定期的
Dell ストレージコントローラエンクロージャ温度センサー		
	Dell サーバー温度センサー	定期的
Dell ストレージコントローラ内部物理ディスク		
	Dell サーバー内部物理ディスクユニット	定期的
Dell ストレージコントローラ物理ディスク		
	Dell サーバーコントローラダイレクトアタッチド物理ディスク	定期的
Dell ストレージグループ		
	Dell サーバーストレージ	定期的
Dell ストレージ仮想ディスク		
	Dell サーバーコントローラ仮想ディスクユニット	定期的
Dell 温度センサー		
	Dell サーバー温度センサーの正常性	定期的

オブジェクト	ユニット監視	
Dell 温度センサーグループ		
	Dell サーバー温度センサグループの正常性	定期的
Dell 電圧センサー		
	Dell サーバー電圧センサーの正常性	定期的
Dell 電圧センサーグループ		
	Dell サーバーセンサー電圧グループ	定期的

ルール

次の項には、Dell エージェントフリー監視機能に固有のルールがリストされています。

Dell システムイベント処理のルール

Dell Server Management Pack Suite は、Dell サーバーからのルールを処理します。

Dell サーバー

Dell エージェントフリー監視機能を使用して検出された Dell サーバーに対するすべての情報、警告、および重要 SNMP トラップには、対応する SNMP トラップルールがあります。

これらの各ルールは、次の条件に基づいて処理されます。

- ソース名 = 「Dell サーバー IP」
- OID = トラップイベントの実際のトラップ ID
- データプロバイダ = SNMP トラップイベントプロバイダ

タスク





タスクは、OpsMgr コンソールの **タスク** ペインで使用できます。デバイスまたはコンポーネントを選択すると、関連するタスクが **タスク** ペインに表示されます。

タスクサマリ

Dell エージェントフリー監視機能を使用した Dell タスクの実行

次の表は、Dell サーバーエージェントフリー監視機能を使用して実行することができる Dell タスクのサマリです。

表 12. Dell エージェントフリー監視機能を使用した Dell タスク

タスク	説明
Dell Remote Access Console の起動	エージェントフリー機能で検出された Dell サーバーおよびラック型ワークステーションのための iDRAC コンソールを起動します。
Dell License Manager の起動	管理システム上で Dell License Manager を起動します。  メモ: Dell License Manager の起動は、管理下ノードに Windows または Linux オペレーティングシステムがインストールされており、Dell License Manager もインストールされている場合にのみ可能です。
リモートデスクトップ (モノリシックサーバー) の起動	選択したシステムのリモートデスクトップを起動します。  メモ: リモートデスクトップの起動は、管理下ノードに Windows オペレーティングシステムがインストールされており、リモートデスクトップが手動で有効化されている場合にのみ可能です。
Dell OpenManage Power Center の起動	選択したシステムの Dell OpenManage Power Center コンソールを起動します。  メモ: OpenManage Power Center の起動は、管理下ノードに Windows または Linux オペレーティングシステム、および OpenManage Server Administrator がインストールされており、Dell OpenManage Power Center がインストールされている場合にのみ可能です。
保証情報の取得	選択したシステムの保証情報を取得します。  メモ: 保証情報を取得するには、アクティブなインターネット接続が必要です。

Dell サーバータスク


保証情報の取得

このタスクを使用して、選択したサーバーの保証ステータスを確認できます。

保証情報を取得するには、次の手順を実行します。


1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell サーバータスク** → **保証情報の取得** と選択します。

Dell OpenManage Server Administrator (モノリシックサーバー) の起動


 **メモ:** OpenManage Server Administrator の起動は、管理下ノードに Windows または Linux オペレーティングシステムと OpenManage Server Administrator がインストールされている場合にのみ可能です。

モノリシックサーバーの OpsMgr コンソールから Server Administrator を起動するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell サーバータスク** → **Dell OpenManage Server Administrator (モノリシックサーバー) の起動** と選択します。

 **メモ:** Dell Server Management Pack Suite タスクが Internet Explorer でリモートコンソールを起動します。

Remote Desktop (モノリシックサーバー) の起動

 **メモ:** リモートデスクトップの起動は、管理下ノードに Windows オペレーティングシステムがインストールされており、リモートデスクトップが手動で有効化されている場合にのみ可能です。

OpsMgr コンソールから Remote Desktop を起動するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell サーバータスク** → **Remote Desktop (モノリシックサーバー) の起動** を選択します。

Dell OpenManage Power Center の起動

このタスクを使用して、OpenManage Power Center コンソールを起動できます。

Dell OpenManage Power Center を起動するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell Windows サーバータスク** → **Dell OpenManage Power Center の起動** と選択します。


Dell Remote Access Console の起動

Dell Remote Access Console を起動するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell サーバータスク** → **Dell Remote Access Console の起動** と選択します。

Dell License Manager の起動

Dell License Manager の起動 タスクで、管理システム上で Dell License Manager を起動できます。Dell License Manager は、Dell iDRAC ライセンスの 1 対多のライセンス展開およびレポートを行うツールです。

 **メモ:** Dell License Manager がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、Dell License Manager を起動するための新しいタスクを作成します。詳細に関しては、[License Manager 起動タスクの作成](#)を参照してください。


Dell License Manager を起動するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell Windows サーバータスク** → **Dell License Manager の起動** と選択します。

Dell Connections License Manager URL の設定

Dell サーバーは Dell Connections License Server が設定された後でしか検出されないため、このタスクはエージェントフリー監視機能をインポートする前に実行してください。

 **メモ:** エージェントフリー監視機能がすでにインポートされている場合、Dell サーバーは次の検出サイクルでしか検出されず、Dell Connections License Manager URL の設定を促すアラートが **Feature Management Dashboard** 内に生成されます。詳細に関しては、[Feature Management アラート](#)を参照してください。

 **メモ:** 管理サーバーが再起動された場合、検出された Dell サーバーは、次の検出サイクルの後にのみ表示されます。

1. Dell Connections License Manager をインストールします。詳細に関しては、dell.com/support/manuals で『Dell Connections License Manager バージョン 1.1 インストールガイド』を参照してください。
2. 監視機能のためのライセンスを入手します。詳細に関しては、dell.com/support/manuals で『Dell Connections License Manager バージョン 1.1 ユーザーズガイド』の「Dell Connections License Manager の管理」の項を参照してください。
3. OpsMgr 2012 コンソールを起動します。
4. ナビゲーションペインで、**監視** をクリックします。
5. **監視** → **Dell** → **Feature Management Dashboard** と展開します。
6. エージェントフリー監視 機能を選択します。
7. **Dell 監視機能のタスク** ペインで、**License Server の設定** を選択します。
タスクの実行 - **License Server の設定** 画面が表示されます。
8. **上書き** をクリックします。
上書きタスクのパラメータ 画面が表示されます。
9. 新しい値列にある **LicenseWebServiceURL** パラメータに、**http://<License Server IP>:<ポート番号>/** の形式で、ライセンスウェブサービス URL (ライセンスウェブサービス URL はデフォルトポートを 8543 として使用) を入力します。
例えば、<http://10.56.123.255:8543/> となります。
10. 新しい値列にある **LicenseWebUIURL** パラメータに、**http://<License Server IP>:<ポート番号>/** の形式で、ライセンスウェブ UI URL (ライセンスウェブ UI URL はデフォルトポートを 8543 として使用) を入力します。
例えば、<http://10.56.123.255:8544/> となります。

11. **上書き** をクリックします。

タスクの実行 - License Server の設定 画面が表示されます。

12. **実行** をクリックします。

タスクステータス - License Server の設定 画面が表示されます。**License Server の設定** タスクは完了までに数分かかります。



メモ: Feature Management Dashboard を使用して別のタスクを開始する前に、タスクが完了するのを待ってください (ダッシュボードで状態アップデート変化を表示します)。

DRAC 監視機能


DRAC 監視機能は、SNMP を使用したさまざまな世代（iDRAC6、iDRAC7、および iDRAC8 システム）の検出と監視をサポートします。

検出とグループ化

Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.0 では、Dell Remote Access Controllers（DRAC）、および統合 DRAC（iDRAC）の検出と分類が可能です。

次の表は、Dell DRAC 監視機能によるハードウェア検出とグループ化の詳細をリストしています。

表 13. Dell ハードウェアの検出とグループ化

グループ	監視機能	ダイアグラムビュー	ハードウェアタイプ
Dell Remote Access Controller	Dell DRAC 監視	Remote Access Controller グループ	iDRAC モジュール、および iDRAC モノリシック インスタンス。  メモ: DRAC 監視機能は、xx0x iDRAC モジュールコントローラの検出をサポートしません。これらのデバイスは、エージェントベース監視機能の拡張可能エディションを使用して管理することができます。

DRAC デバイスの検出

DRAC デバイスは、OpsMgr コンソールの **管理** セクションでネットワークデバイスとして検出される必要があります。

DRAC デバイスを検出するには、次の手順を行います。

1. OpsMgr 管理者として管理サーバーにログオンします。
2. OpsMgr コンソールで、**管理** をクリックします。
3. ナビゲーションペイン下部の **検出ウィザード** をクリックします。
4. **検出ウィザード** を実行し、**ネットワークデバイス** を選択して、画面上の指示に従います。
詳細に関しては、technet.microsoft.com にある OpsMgr マニュアルを参照してください。
5. OpsMgr 2012 の **デバイスコンソールの追加** 画面でスキャンする IP アドレスを入力し、SNMP V1 または V2 の **Run As アカウント** ドロップダウンボックスから適切な **Run As アカウント** を選択します。

6. **Feature Management Dashboard** を使用して DRAC 監視機能を有効にします。

OpsMgr 2012 のための拡張性の推奨

分散型セットアップにおける多数ネットワークデバイスの管理時に、同じ管理グループがエージェントベースのデバイスの管理にも使用されている場合は、デバイスタイプごとに管理サーバーの専用リソースプールを使用してください。


DRAC 監視機能による検出

表 14. DRAC 監視機能の検出

検出オブジェクト	説明
iDRAC 検出	サポートされているすべての Integrated Dell Remote Access Controller を検出します。
Dell Integrated Remote Access モジュール検出	モジュールシステム用 Dell Integrated Remote Access Controller のシャーシ名とシャーシサービスタグを検出します。
iDRAC6 モジュール検出	iDRAC6 (モジュール) グループを検出します。
iDRAC6 モノリシック検出	iDRAC6 (モノリシック) グループを検出します。
iDRAC7 モジュール検出	iDRAC7 (モジュール) グループを検出します。
iDRAC7 モノリシック検出	iDRAC7 (モノリシック) グループを検出します。
iDRAC8 モジュール検出	iDRAC8 (モジュール) グループを検出します。
iDRAC8 モノリシック検出	iDRAC8 (モノリシック) グループを検出します。
Dell Remote Access グループ検出	Dell Remote Access グループを検出し、iDRAC にデータ投入します。
Dell Integrated Remote Access モノリシックグループ検出	Dell Integrated Remote Access モノリシックグループと iDRAC (モノリシック) を検出します。
Dell Integrated Remote Access モジュールグループ検出	iDRAC (モジュール) グループを検出してデータ投入します。

監視

Dell Server Management Pack Suite をインストールした後は、OpsMgr の **監視** ペインを使用して、検出された Dell DRAC デバイスの正常性情報をすべて表示するビューを選択できます。DRAC 監視機能は、Dell DRAC デバイスの正常性を検出および監視します。この機能では、一定の間隔またはイベントの発生時の両方で Dell DRAC デバイスの正常性を監視します。[重要度レベルインジケータ](#)は、ネットワーク上の Dell DRAC デバイスの正常性を示します。

-  **メモ:** DRAC デバイスの正常性を監視するには、SNMP 監視アカウント付きのコミュニティ文字列の Run As アカウントを、Dell Remote Access Controller クラスまたは各 DRAC オブジェクト（異なる DRAC デバイスで異なる Run As アカウントがある場合）に関連付けます。

アラートビュー

このビューは、Dell DRAC デバイスからのハードウェアイベントおよびストレージイベントの管理に使用します。DRAC デバイスによって送信された SNMP トラップが DRAC 監視機能によって表示されます。

OpsMgr コンソールでのアラートの表示

OpsMgr コンソールで DRAC アラートを表示するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソール を起動して、**監視** をクリックします。
2. **Dell** → **アラートビュー** → **Remote Access アラート** の順にクリックします。
Remote Access アラート が表示されます。これらのアラートには、iDRAC6、iDRAC7、および iDRAC8 デバイスからの SNMP トラップに関する情報が含まれています。
3. **アラート詳細** ペインで詳細を表示するアラートを選択します。
各 **アラートビュー** の右ペインに、アラートの重要度、解決状態などのユーザー指定の条件を満たすアラート、またはユーザーに割り当てられたアラートが表示されます。

ダイアグラムビュー

ダイアグラムビュー には、お使いのネットワーク上にあるすべての Dell DRAC デバイスの階層的な図が表示されます。

OpsMgr コンソールでのダイアグラムの表示

OpsMgr コンソールで DRAC 監視機能のダイアグラムを表示するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールを起動して、**監視** → **Dell** → **ダイアグラムビュー** とクリックします。
2. 左側の **監視** ペインで **ダイアグラムビュー** フォルダに移動して、次のビューを表示します。
 - [完全ダイアグラムビュー](#)
 - [Remote Access Controller グループ](#)
3. 任意の **ダイアグラムビュー** を選択します。
右側のペインに、選択した Dell デバイスの階層的な図が表示されます。
4. ダイアグラム内のコンポーネントを選択して、**詳細ビュー** ペインに詳細を表示します。

Remote Access Controller グループ

Remote Access Controller グループ ダイアグラムビューは、すべての iDRAC6、iDRAC7、および iDRAC8 デバイスを図示します。ダイアグラム内のコンポーネントを選択して、**詳細ビュー** ペインにそのデバイスの詳細を表示します。

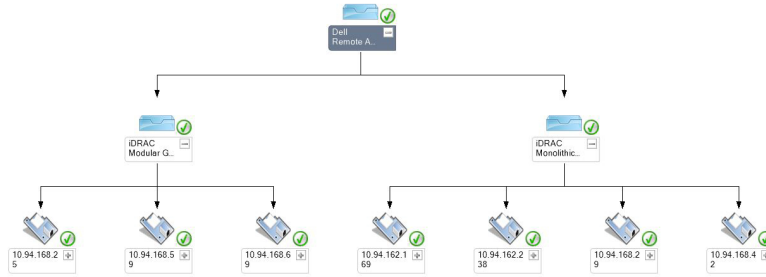


図 3. Remote Access Controller グループダイアグラム

状態ビュー


このビューは、Dell DRAC デバイスの正常性を表示するために使用します。OpsMgr コンソールで、**Dell → 状態ビュー → DRAC** とクリックすると、ネットワーク上で OpsMgr が管理する各 Dell DRAC デバイスのステータスが表示されます。


コンポーネントの正常性は、そのコンポーネントに関連付けられた未解決のアラートを確認することによって取得されます。[重要度レベルインジケータ](#)では、Dell Server Management Pack Suite がそれらの対応重要度レベルと共に使用する各種状況コンポーネントについて説明します。

DRAC 監視機能のための Dell ユニット監視

DRAC 監視対象オブジェクトで発生するさまざまな状況を評価するための監視です。

表 15. DRAC 監視機能のための Dell ユニット監視

オブジェクト	ユニット監視
iDRAC6 モジュラー	
Dell Remote Access ステータス	イベントおよび定期的監視
iDRAC6 モノリシック	
Dell Remote Access ステータス	イベントおよび定期的監視
iDRAC7 Modular (iDRAC7 モジュラー)	
 メモ: iDRAC7 モジュラーおよびモノリシックサーバーでは、Dell RAC 定期ベースおよび Dell RAC トリガベースのユニット監視は無効になっています。	
Dell Remote Access ステータス	イベントおよび定期的監視
コントローラグローバルステータス	イベントおよび定期的監視

オブジェクト	ユニット監視
コントローラグローバルストレージステータス	イベントおよび定期的監視
iDRAC7 Monolithic (iDRAC7 モノリシック)	
Dell Remote Access ステータス	イベントおよび定期的監視
コントローラグローバルステータス	イベントおよび定期的監視
コントローラグローバルストレージステータス	イベントおよび定期的監視
iDRAC8 モジュール	
 メモ: iDRAC8 モジュールおよびモノリシックサーバーでは、Dell RAC 定期ベースおよび Dell RAC トリガベースのユニット監視は無効になっています。	
Dell Remote Access ステータス	イベントおよび定期的監視
コントローラグローバルステータス	イベントおよび定期的監視
コントローラグローバルストレージステータス	イベントおよび定期的監視
iDRAC8 モノリシック	
Dell Remote Access ステータス	イベントおよび定期的監視
コントローラグローバルステータス	イベントおよび定期的監視
コントローラグローバルストレージステータス	イベントおよび定期的監視

ルール

次の項には、Dell DRAC 監視機能に固有のルールがリストされています。

Dell システムイベント処理のルール

Dell Server Management Pack Suite は、DRAC トラップからのルールを処理します。


DRAC デバイス

DRAC デバイス向けのすべての情報、警告、および重要 SNMP トラップには、対応する SNMP トラップルールがあります。

これらの各ルールは、次の条件に基づいて処理されます。

- ソース名 = 「DRAC/CMC 名または ip」

- OID = DRAC /CMC SNMP トラップイベントの実際のトラップ ID
- データプロバイダ = SNMP トラップ

 **メモ:** 情報アラートはデフォルトでオフになっています。これらのアラートを受け取るには、情報アラート管理パックをインポートします。

タスク



タスクは、OpsMgr コンソールの **タスク** ペインで使用できます。デバイスまたはコンポーネントを選択すると、関連するタスクが **タスク** ペインに表示されます。

タスクサマリ

DRAC を使用した Dell タスクの実行

次の表に、DRAC を使用して実行できる Dell タスクの概要を示します。

表 16. DRAC を使用した Dell タスク

タスク	説明
Dell Remote Access Console の起動	検出された DRAC の DRAC コンソールを起動します。
Dell License Manager の起動	管理システム上で Dell License Manager を起動します。
Remote Desktop の起動	選択したシステムのリモートデスクトップを起動します。  メモ: この機能は、iDRAC 7 および iDRAC8 装備のシステムでのみ使用可能です。
Dell OpenManage Server Administrator の起動	Dell OpenManage Server Administrator を起動します。  メモ: この機能は、iDRAC 7 および iDRAC8 装備のシステムでのみ使用可能です。

Dell Remote Access Controller (DRAC) タスク

Dell Remote Access Console の起動

Dell システムに DRAC が搭載されている場合は、このタスクを使用して Dell Remote Access Console を起動することができます。

Dell Remote Access Console を起動するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の DRAC/iDRAC デバイスを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. *System Center Operations Manager 2007 R2* を実行しているシステムの場合：


アクション ペインで、**SNMP ネットワークデバイス**タスク → **Dell RemoteAccess Console の起動** と選択します。

OpsMgr 2012 を実行しているシステムの場合：

タスク ペインで、**Dell Remote Access Controller タスク** → **Dell DRAC Console の起動** と選択します。

Dell License Manager の起動


Dell License Manager の起動 タスクで、管理システム上で Dell License Manager を起動できます。Dell License Manager は、Dell iDRAC ライセンスの 1 対多のライセンス展開およびレポートを行うツールです。

 **メモ:** Dell License Manager がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、Dell License Manager を起動するための新しいタスクを作成します。詳細に関しては、[License Manager 起動タスクの作成](#)を参照してください。

Dell License Manager を起動するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell DRAC/iDRAC デバイスを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. タスク ペインで、**Dell Remote Access Controller タスク** → **Dell License Manager の起動** と選択します。

Dell OpenManage Server Administrator の起動


 **メモ:** Dell OpenManage Server Administrator 機能は、iDRAC 7 および iDRAC8 搭載のシステムのみで使用可能です。

Dell OpenManage Server Administrator を起動するには、次の手順を実行します。


1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell DRAC/iDRAC デバイスを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. タスク ペインで、**Dell Remote Access Controller タスク** → **Dell OpenManage Server Administrator の起動** と選択します。
4. *System Center Operations Manager 2007 R2 を実行しているシステムの場合：*
アクション ペインで、**SNMP ネットワークデバイス**タスク → **Dell OpenManage Server Administrator の起動** と選択します。


OpsMgr 2012 を実行しているシステムの場合：

タスク ペインで、**Dell Remote Access Controller タスク** → **Dell OpenManage Server Administrator の起動** と選択します。

 **メモ:** Server Management Pack Suite タスクが、Internet Explorer でリモートコンソールを起動します。

Remote Desktop の起動

 **メモ:** Remote Desktop 機能は、iDRAC 7 および iDRAC8 搭載のシステムのみで使用可能です。

 **メモ:** Remote Desktop の起動は、管理ノードで Remote Desktop が手動で有効化されている場合にのみ可能です。

Remote Desktop を起動するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell DRAC/iDRAC デバイスを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. *System Center Operations Manager 2007 R2* を実行しているシステムの場合：
アクション ペインで、**SNMP ネットワークデバイスタスク** → **Dell OpenManage Server Administrator** の**起動**と選択します。

OpsMgr 2012 を実行しているシステムの場合：

タスク ペインで、**Dell Remote Access Controller** タスク → **Dell OpenManage Server Administrator** の**起動**と選択します。

シャーシ監視機能

シャーシ監視機能は、SNMP を使用した Dell PowerEdge FX2、Dell PowerEdge VRTX シャーシ、および Dell PowerEdge M1000e シャーシ上の Chassis Management Controller (CMC) の検出および監視をサポートします。

検出とグループ化

Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.0 は、Dell Chassis Management Controller (CMC)、Dell PowerEdge FX2、Dell PowerEdge M1000e、および Dell PowerEdge VRTX の検出と分類を可能にします。

次の表は、Dell CMC 監視機能によるハードウェア検出とグループ化の詳細をリストしています。

表 17. Dell ハードウェアの検出とグループ化


グループ	ダイアグラムビュー	ハードウェアタイプ
Dell CMC	Dell Chassis Management Controller (CMC) グループ	ネットワーク上の CMC インスタンス、CMC のシャーシスロットサマリおよびサーバーモジュール。
Dell PowerEdge M1000e	Dell M1000e シャーシグループ	Dell PowerEdge M1000e
Dell PowerEdge VRTX	Dell VRTX シャーシグループ	Dell PowerEdge VRTX
Dell FX2	Dell FX2 シャーシグループ	Dell PowerEdge FX2

シャーシデバイスの検出

シャーシデバイスは、OpsMgr コンソールの **管理** セクションでネットワークデバイスとして検出されます。

シャーシデバイスを検出するには、次の手順を行います。

1. OpsMgr 管理者として管理サーバーにログオンします。
2. OpsMgr コンソールで、**管理** をクリックします。
3. ナビゲーションペイン下部の **検出ウィザード** をクリックします。
4. **検出ウィザード** を実行し、**ネットワークデバイス** を選択して、画面上の指示に従います。
詳細に関しては、technet.microsoft.com にある OpsMgr マニュアルを参照してください。

 **メモ:** シャーシデバイスの検出用に作成した **Run As アカウント** を選択します。詳細については、dell.com/support/manuals で『Microsoft System Center Operations Manager 向け Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.0 インストールガイド』の「サーバーモジュールとシャーシスロットサマリを相関させるための Dell Chassis Management Controller 機能の設定」の項を参照してください。

5. OpsMgr 2012 の **デバイスコンソールの追加** 画面で、スキャンする IP アドレスを入力し、SNMP V1 または V2 **Run As アカウント** ドロップダウンボックスから適切な Run As アカウントを選択します。
6. **Feature Management Dashboard** を使用してシャーシ監視機能を有効にします。

Dell シャーシ監視機能による検出

表 18. Dell シャーシ監視機能の検出

検出オブジェクト	説明
Dell CMC 検出	サポートされているすべての Dell CMCs、Dell PowerEdge FX2、Dell PowerEdge VRTX、および Dell PowerEdge M1000e を検出
Dell CMC スロット検出	CMC デバイス上のスロットを検出します。
Dell シャーシ詳細検出	Dell シャーシコンポーネントすべてを検出します。

監視

Dell Server Management Pack Suite のインストール後、OpsMgr の **監視** ペインを使用して、検出された Dell CMC デバイスの完全な正常性情報を表示するビューを選択することができます。シャーシ監視機能は、Dell CMC デバイスの正常性を検出および監視します。[重大度レベルインジケータ](#)は、ネットワーク上の Dell CMC デバイスの正常性を示します。

シャーシ監視には、一定間隔およびイベント発生時の両方における Dell シャーシデバイスの正常性の監視が含まれます。

 **メモ:** シャーシの詳細監視を実行するには、Dell CMC へのアクセスに必要な WS-Man 資格情報で Run As アカウントを作成し、そのアカウントをプロファイル（Dell CMC ログインアカウント Run As プロファイル）に関連付けます。

アラートビュー

このビューは、Dell CMC デバイスからのハードウェアイベントおよびストレージイベントの管理に使用します。シャーシデバイスが送信する SNMP トラップがシャーシ監視機能によって表示されます。

OpsMgr コンソールでのアラートの表示

OpsMgr コンソールでシャーシ監視アラートを表示するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールを起動して、**監視** をクリックします。
2. **Dell** → **アラートビュー** とクリックします。
次の個別の **アラートビュー** が表示されます。
 - **CMC アラート** – 検出されたシャーシデバイスからの SNMP トラップが表示されます。

- **Dell M1000e シャーシアラート** – 検出された Dell PowerEdge M1000e シャーシデバイスからの SNMP トラップが表示されます。
 - **Dell VRTX シャーシアラート** – 検出された Dell PowerEdge VRTX シャーシデバイスからの SNMP トラップが表示されます。
 - **Dell FX2 シャーシアラート** – 検出された Dell PowerEdge FX2 シャーシデバイスからの SNMP トラップが表示されます。
3. 任意の **アラートビュー** を選択します。
各 **アラートビュー** の右ペインに、アラートの重要度、解決状態などのユーザー指定の条件を満たすアラート、またはユーザーに割り当てられたアラートが表示されます。
 4. **アラート詳細** ペインで詳細を表示するアラートを選択します。

ダイアグラムビュー

ダイアグラムビュー には、ネットワーク上にあるすべての Dell CMC デバイス、Dell FX2、Dell M1000e、および Dell VRTX の階層的な図が表示されます。

OpsMgr コンソールでのダイアグラムの表示

OpsMgr コンソールでシャーシ監視機能のダイアグラムを表示するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールを起動して、**監視** → **Dell** → **ダイアグラムビュー** とクリックします。
2. 次のビューについては、**ダイアグラムビュー** に移動します。
 - [ダイアグラムビューを完了します。](#)
 - [シャーシ管理コントローラグループ](#)
 - [Dell シャーシダイアグラムビュー](#)
 - **Dell FX2 シャーシダイアグラムビュー**
 - **Dell M1000e シャーシダイアグラムビュー**
 - **Dell VRTX シャーシダイアグラムビュー**
3. 任意の **ダイアグラムビュー** を選択します。
右側のペインに、選択した Dell デバイスの階層的な図が表示されます。
4. ダイアグラム内のコンポーネントを選択して、**詳細ビュー** ペインに詳細を表示します。

シャーシ管理コントローラグループ

シャーシ管理コントローラグループ ダイアグラムビューには、すべての Dell CMC、Dell PowerEdge FX2、Dell PowerEdge M1000e、および Dell PowerEdge VRTX と、それらのインベントリが図で表示されます。シャーシ検出については、[シャーシデバイスの検出](#)を参照してください。

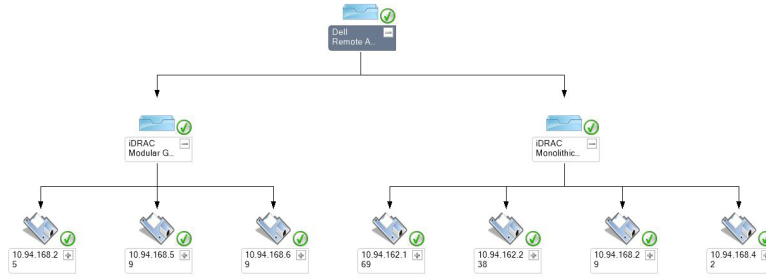


図 4. Chassis Management Controller グループのダイアグラム

検出された CMC シャーシに関しては、**シャーシスロットサマリ**で使用中および未使用スロットのサマリを表示することができます。

CMC シャーシで変更されたスロット名は、**ダイアグラムビュー**に反映されます。

Dell サーバーと、CMC シャーシのサーバーモジュールとの相関関係は、**Chassis Management Controller グループ**ダイアグラムに表示されます。Dell システムは、**ダイアグラム**内のスロットの下にあります。

- メモ:** CMC スロット検出用の **Run As アカウント** は、シンプル、ベーシック、またはダイジェスト認証のみで作成してください。詳細については、dell.com/support/manuals で『Microsoft System Center Operations Manager 向け Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.0 インストールガイド』の「サーバーモジュールとシャーシスロットサマリを相関させるための Dell Chassis Management Controller 機能の設定」の項を参照してください。
- メモ:** モジュラーシステムの iDRAC ファームウェアは、CMC ファームウェアとの互換性があるようにしてください。互換性がない場合、サービスタグが **該当なし** と表示され、シャーシブレード相関が不可能になる場合があります。

Dell シャーシダイアグラムビュー

Dell シャーシダイアグラムビューは、Dell PowerEdge FX2、Dell PowerEdge M1000e シャーシ、および Dell PowerEdge VRTX シャーシデバイスを図示します。ダイアグラムでコンポーネントを選択すると、**詳細ビュー**ペインにその詳細が表示されます。

状態ビュー

このビューは、Dell CMC デバイスの正常性を表示するために使用することができます。OpsMgr コンソールで **Dell** → **状態ビュー** とクリックすると、ネットワーク上で OpsMgr によって管理される各 Dell デバイスのステータスが表示されます。

状態ビューを表示する Dell CMC デバイスグループを選択します。CMC デバイスグループのステータスを表示することができます。

コンポーネントの正常性は、そのコンポーネントに関連付けられた未解決のアラートを見直すことにより取得されます。[重大度レベルインジケータ](#)では、Server Management Pack Suite が対応する重大度レベルと共に使用する様々な状態のコンポーネントについて説明しています。

シャーシ監視機能のための Dell ユニット監視

シャーシ監視対象オブジェクトで発生するさまざまな状況を評価するための監視です。

表 19. シャーシ監視機能のための Dell ユニット監視

オブジェクト	ユニット監視
Dell CMC	
Dell CMC ステータス	イベントおよび定期的監視
Dell シャーシ正常性全般	
Dell シャーシ正常性全般ユニット監視	イベントおよび定期的監視
Dell シャーシ I/O モジュール	
Dell シャーシ I/O モジュール正常性ポーリングに基づいたユニット監視	定期的
Dell モジュラーシャーシファン	
Dell シャーシファン正常性ポーリングに基づいたユニット監視	定期的
Dell シャーシモジュラーコントローラ	
Dell シャーシ CMC 正常性ポーリングに基づいたユニット監視	定期的
Dell シャーシモジュラーコントローラグループ	
Dell シャーシ CMC グループ正常性ポーリングに基づいたユニット監視	定期的
Dell シャーシモジュラー電源装置	
Dell シャーシ電源装置正常性ポーリングに基づいたユニット監視	定期的
Dell シャーシモジュラー電源装置グループ	
Dell シャーシ電源装置グループ正常性ポーリングに基づいたユニット監視	定期的
Dell シャーシモジュラー PCIe デバイス	
Dell シャーシ PCIe デバイス正常性ポーリングに基づいたユニット監視	定期的

オブジェクト	ユニット監視
Dell シャーシストレージエンクロージャ	
Dell シャーシストレージエンクロージャ正常性ポーリングに基づいたユニット監視	定期的
Dell シャーシストレージコントローラ	
Dell シャーシストレージコントローラ正常性ポーリングに基づいたユニット監視	定期的
Dell シャーシストレージコントローラバッテリー正常性ポーリングに基づいたユニット監視	定期的
Dell シャーシストレージコントローラ仮想ディスク	
Dell シャーシストレージ仮想ディスク正常性ポーリングに基づいたユニット監視	定期的
Dell シャーシストレージコントローラエンクロージャ内部物理ディスク	
Dell シャーシストレージ内部物理ディスクプライマリ正常性ステータスポーリングに基づいたユニット監視	定期的
Dell シャーシストレージ内部物理ディスクの予測障害正常性ステータスポーリングに基づいたユニット監視	定期的
Dell シャーシストレージコントローラエンクロージャ外部物理ディスク	
Dell シャーシストレージ外部物理ディスクプライマリ正常性ステータスポーリングに基づいたユニット監視	定期的
Dell シャーシストレージ外部物理ディスクの予測障害正常性ステータスポーリングに基づいたユニット監視	定期的

ルール

次の項には、Dell シャーシ監視機能に固有のルールがリストされています。

Dell システムイベント処理のルール


Dell Server Management Pack Suite は、シャーシトラップからのルールを処理します。

シャーシデバイス

シャーシデバイス向けのすべての情報、警告、および重要 SNMP トラップには、対応する SNMP トラップルールがあります。

これらの各ルールは、次の条件に基づいて処理されます。

- ソース名 = 「DRAC/CMC 名または ip」
- OID = DRAC /CMC SNMP トラップイベントの実際のトラップ ID
- データプロバイダ = SNMP トラップ

 **メモ:** 情報アラートはデフォルトでオフになっています。これらのアラートを受け取るには、情報アラート管理パックをインポートします。

タスク

タスクは、OpsMgr コンソールの **タスク** ペインで使用できます。デバイスまたはコンポーネントを選択すると、関連するタスクが **タスク** ペインに表示されます。

タスクサマリ

Dell シャーシを使用した Dell タスクの実行

次の表に、Dell シャーシを使用して実行できる Dell タスクのサマリを示します。

表 20. Dell シャーシを使用した Dell タスク

タスク	説明
Dell CMC Console の起動	CMC コンソールを起動します。

Dell シャーシタスク

Dell CMC Console の起動

このタスクを実行して、CMC Console を起動できます。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで CMC デバイスを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. *System Center Operations Manager 2007 R2* を実行しているシステムの場合：
アクションペインで、**SNMP ネットワークデバイスタスク** → **Dell CMC Console の起動** と選択します。

OpsMgr 2012 を実行しているシステムの場合：

タスク ペインで、**Dell CMC タスク** → **Dell CMC Console の起動** と選択します。

シャーシモジュラーサーバー関連機能

シャーシモジュラーサーバー関連機能は次をサポートします。

- Dell モジュラーサーバーとシャーシスロットの関連。
 - ✎ **メモ:** 関連機能を動作させるには、CMC スロット検出を有効にします。
- シャーシ共有ストレージコンポーネントと Dell サーバーの関連。
 - ✎ **メモ:** シャーシ共有コンポーネントと Dell サーバーとの関連にシャーシ詳細監視を有効にします。

シャーシモジュラーサーバー関連機能による検出

表 21. シャーシモジュラーサーバー関連機能検出

検出オブジェクト	説明
Dell CMC シャーシからモジュラーサーバーへの関連検出	CMC シャーシと Dell モジュラーシステムの関連関係を検出します。
Dell シャーシストレージからブレードサーバへの関連検出	シャーシ共有コンポーネントと Dell サーバー（エージェントベース）間の関連関係を検出します。

Dell Feature Management Dashboard

Dell Feature Management Dashboard は次の監視機能を提供することにより、OpsMgr での Dell システム（Dell サーバー、Dell Precision ラック、Dell Remote Access Controllers (DRAC)、Dell Chassis Management Controller (CMC)）の管理を強化します。

- エージェントベース監視機能
- エージェントフリー監視機能
- DRAC 監視機能
- シャーシ監視機能
- シャーシモジュラーサーバー関連機能

Dell Feature Management Pack による検出

表 22. Dell Feature Management Pack 検出


検出オブジェクト	説明
Dell ライセンス設定検出	Dell Connections License Manager のウェブサーバー URL を設定します。
Dell Feature Management ホスト検出	管理サーバが機能管理パックのホストである場合、ダッシュボードにデータを投入します。Dell Server Management Pack Suite が最初にインストールされた管理サーバーが機能管理パックホストとして選択されます。

タスク

タスクは、OpsMgr コンソールの **タスク** ペインで使用できます。デバイスまたはコンポーネントを選択すると、関連するタスクが **タスク** ペインに表示されます。

機能管理タスク

次の表には、**Feature Management Dashboard** で使用できるタスクがリストされています。リストされているタスクの一部は、特定の監視機能をインポートした後でしか表示されません。

 **メモ:** イベントログ内のエラーログにある、既存の管理パックの再インポートに関するエラーは無視してください。これらのエラーは、監視機能のインポート中に **Feature Management Dashboard** がインポート済みのすべての依存管理パックを再インポートしたときに発生します。





 **メモ: Feature Management Dashboard** を使用して別のタスクを開始する前に、タスクが完了するのを待ってください（ダッシュボードで状態アップデートの変更を表示します）。

表 23. 機能管理タスク

タスク	説明
サーバーおよびラック型ワークステーションエージェントフリー監視	
License Server の設定	<p>Dell Connections License Manager を設定します。詳細に関しては、Dell Connections License Manager URL の設定を参照してください。</p> <p> メモ: Dell サーバーは Dell Connections License Server が設定された後でしか検出されないため、このタスクはエージェントフリー監視機能をインポートする前に実行してください。</p>
Dell Connections License Manager の起動	<p>Dell Connections License Manager コンソールを起動します。詳細に関しては、dell.com/support/manuals の『Dell Connections License Manager ユーザーズガイド』を参照してください。</p> <p> メモ: Dell Connections License Manager の設定中、License Manager タスクは、LicenseWebUI URL の設定完了後にのみ有効になります。詳細に関しては、Dell Connections License Manager URL の設定を参照してください。</p> <p> メモ: License Server の設定 と Connections License Manger の起動 は、Feature Management Dashboard 上のすべての監視機能に共通のタスクです。</p>
エージェントフリー拡張可能機能のインポート	エージェントフリー監視機能の拡張可能機能をインポートします。
エージェントフリー詳細機能のインポート	エージェントフリー監視機能の詳細機能をインポートします。
エージェントフリー拡張可能機能への設定	<p>システムで詳細機能が実行されている場合、Feature Management Dashboard は 詳細機能から拡張可能機能に切り替わります。</p> <p>以前のバージョンからのアップグレードを行うときには、このタスクを実行してこの監視機能の最新バージョンを使用してください。</p>
エージェントフリー詳細機能への設定	<p>システムで拡張可能機能が実行されている場合、Feature Management Dashboard は 拡張可能機能から詳細機能に切り替わります。</p> <p>以前のバージョンからのアップグレードを行うときには、このタスクを実行してこの監視機能の最新バージョンを使用してください。</p>

タスク	説明
優先監視メソッドとしてのエージェントフリーの設定	このタスクは、セットアップの Dell サーバーおよびラック型ワークステーションがエージェントベース監視機能とエージェントフリー監視機能の両機能によって監視されるときに、エージェントフリー監視機能を Dell サーバーおよびラック型ワークステーションの優先監視メソッドとして有効にします。
ダッシュボードの更新	自動的にアップデートされなかった場合に Feature Management Dashboard をアップデートします。
エージェントフリー監視機能の削除	エージェントフリー監視機能を削除します。
サーバーおよびラック型ワークステーションのエージェントベース監視	
エージェントベース詳細機能のインポート	エージェントベース監視機能の詳細機能をインポートします。
エージェントベース拡張可能機能のインポート	エージェントベース拡張可能機能をインポートします。
エージェントベースの優先監視メソッドとしての設定	このタスクは、セットアップの Dell サーバーおよびラック型ワークステーションがエージェントベース監視機能とエージェントフリー監視機能の両機能によって監視されるときに、エージェントベース監視機能を Dell サーバーおよびラック型ワークステーションの優先監視メソッドとして有効にします。
エージェントベース拡張可能機能への設定	システムで詳細機能が実行されている場合、 Feature Management Dashboard は 詳細機能から拡張可能機能に切り替わります。 以前のバージョンからのアップグレードを行うときには、このタスクを実行してこの監視機能の最新バージョンを使用してください。
エージェントベース詳細機能への設定	システムで拡張可能機能が実行されている場合、 Feature Management Dashboard は 拡張可能機能から詳細機能に切り替わります。 以前のバージョンからのアップグレードを行うときには、このタスクを実行してこの監視機能の最新バージョンを使用してください。
Dell エージェントベースに対するエージェントプロキシの有効化	Dell エージェントベースサーバーに対してエージェントプロキシを有効にします。
情報アラートをオンに設定	エージェントベース拡張可能監視の使用時に情報アラートがオンになります。
情報アラートをオフに設定	エージェントベース拡張可能監視の使用時に情報アラートがオフになります。

タスク	説明
ダッシュボードの更新	自動的にアップデートされなかった場合に Feature Management Dashboard をアップデートします。
エージェントベース監視機能の削除	エージェントベース監視機能を削除します。
DRAC 監視	
DRAC 監視機能のインポート	DRAC 監視機能をインポートします。
DRAC 監視機能のアップグレード	DRAC 監視機能の最新バージョンにアップグレードします。
ダッシュボードの更新	自動的にアップデートされなかった場合に Feature Management Dashboard をアップデートします。
DRAC 監視機能の削除	DRAC 監視機能を削除します。
シャーシ監視	
シャーシ拡張可能監視機能のインポート	シャーシ拡張可能監視機能をインポートします。
シャーシ詳細監視機能のインポート	シャーシ詳細監視機能をインポートします。
シャーシ拡張可能機能への設定	システムで詳細機能が実行されている場合、 Feature Management Dashboard は詳細機能から拡張可能機能に切り替わります。前のバージョンからのアップグレードを行うときには、このタスクを実行してこの監視機能の最新バージョンを使用してください。
シャーシ詳細機能への設定	システムで拡張可能機能が実行されている場合、 Feature Management Dashboard は拡張可能機能から詳細機能に切り替わります。 前のバージョンからのアップグレードを行うときには、このタスクを実行してこの監視機能の最新バージョンを使用してください。
ダッシュボードの更新	自動的にアップデートされなかった場合に Feature Management Dashboard をアップデートします。
シャーシ監視機能の削除	シャーシ監視機能（拡張可能監視機能および詳細監視機能の両方）を削除します。
シャーシモジュラーサーバー関連	
シャーシモジュラーサーバー関連機能のインポート	シャーシモジュラーサーバー関連機能をインポートします。
シャーシモジュラーサーバー関連機能のアップグレード	シャーシモジュラーサーバー関連機能の最新バージョンにアップグレードします。

タスク	説明
ダッシュボードの更新	自動的にアップデートされなかった場合に Feature Management Dashboard をアップデートします。
シャーシモジュラーサーバー関連機能の削除	シャーシモジュラーサーバー関連監視機能を削除します。


関連文書およびリソース

本章では、Dell Server Management Pack Suite の操作に役立つ文書および参考資料に関する詳細を説明します。

Operations Manager のパフォーマンスと拡張性のためのマイクロソフトガイドライン

最適なパフォーマンスのため、異なる管理ステーションにはデバイス固有の Server Management Pack Suite を展開します。

拡張性に関するマイクロソフトの推奨については、マイクロソフトのウェブサイト technet.microsoft.com を参照してください。

 **メモ:** パフォーマンス向上のため、Operations Manager データウェアハウス、および / またはデータベースで **Autogrow** オプションが有効化されていることを確認してください。

その他の必要マニュアル

本『ユーザーズガイド』以外にも、dell.com/support/manuals から入手可能な次のガイドを参照する必要がある場合もあります。

- *Integrated Dell Remote Access Controller バージョン 8 ユーザーズガイド*
- *Dell Chassis Management Controller User's Guide (Dell Chassis Management Controller ユーザーズガイド)*
- *Dell OpenManage Installation and Security ユーザーズガイド*
- *Dell OpenManage Server Administrator インストールガイド*
- *Dell OpenManage Server Administrator 互換性ガイド*
- *Dell OpenManage Server Administrator CIM リファレンスガイド*
- *Dell OpenManage Server Administrator メッセージリファレンスガイド*
- *Dell OpenManage Server Administrator コマンドラインインタフェースユーザーズガイド*
- *Dell OpenManage ベースボード管理コントローラユーティリティユーザーズガイド*
- *Dell Remote Access Controller Racadm ユーザーズガイド*
- *Dell Life Cycle Controller ユーザーズガイド*
- *Dell PowerEdge VRTX 用 Dell Chassis Management Controller ユーザーズガイド*

『Dell Systems Management Tools and Documentation』DVD には、Server Administrator の readme ファイルおよびこの DVD に含まれるその他のシステム管理ソフトウェアアプリケーションの readme ファイルが収録されています。


デルサポートサイトからの文書へのアクセス

デルサポートサイトから文書にアクセスするには、次の手順を実行します。

1. **dell.com/support/manuals** にアクセスします。
2. サービスタグまたはエクスプレスサービスコードをお持ちですか? セクションの **いいえ** ですべてのデル製品のリストから **選択する** を選択し、**続行** をクリックします。
3. **お使いの製品タイプ** を選択してください セクションで、**ソフトウェアとセキュリティ** をクリックします。
4. **お使いのデル製システム** を選択してください - **Software** セクションで、次の中から必要なリンクをクリックします。


- クライアントシステム管理
- エンタープライズシステム管理
- リモートエンタープライズシステム管理
- **Serviceability Tools**

5. マニュアルを表示するには、必要な製品バージョンをクリックします。

 **メモ:** または、次のリンクを使用してマニュアルに直接アクセスすることもできます。

- エンタープライズシステム管理マニュアル – **dell.com/openmanagemanuals**
- リモートエンタープライズシステム管理マニュアル – **dell.com/esmmanuals**
- Serviceability Tools マニュアル – **dell.com/serviceabilitytools**
- クライアントシステム管理マニュアル – **dell.com/OMConnectionsClient**
- OpenManage Connections エンタープライズシステム管理マニュアル – **dell.com/OMConnectionsEnterpriseSystemsManagement**
- OpenManage Connections クライアントシステム管理マニュアル – **dell.com/OMConnectionsClient**

デルへのお問い合わせ

 **メモ:** お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。サポートやサービスの提供状況は国や製品ごとに異なり、国 / 地域によってはご利用いただけないサービスもございます。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

1. **dell.com/support** にアクセスします。
2. サポートカテゴリを選択します。
3. ページの上部にある **国 / 地域** の選択 ドロップダウンメニューで、お住まいの国または地域を確認します。
4. 必要なサービスまたはサポートのリンクを選択します。

付録 A – 問題とその解決

問題とその解決

次の表では、既知の問題、解決策、および問題の対象をリストしています。

表 24. 問題とその解決

問題	解決策	対象
Dell ネットワークデバイス用の ダイアグラムビュー で、Dell DRAC およびシャーシオブジェクトの基本属性が表示されない。	この問題を解決するため、 状態ビュー でオブジェクトをクリックすることにより、詳細な属性一連を表示することができます。	Dell シャーシ監視機能
ライセンス設定アラートが自動的に解決されない。	この問題を解決するには、OpsMgr コンソールでライセンス設定アラートを右クリックして 閉じる をクリックします。	Dell Server Management Pack Suite
サーバーモジュールおよびシャーシスロットサマリ情報が CMC に表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> • CMC を管理する管理サーバーに OpenManage Server Administrator (OMSA) または DRAC ツールがインストールされていることを確認します。 • CMC デバイスに RunAsAccounts が設定されており、「Dell CMC ログインアカウント」と関連付けられていることを確認します。 • Dell CMC スロット検出 およびルールが、OpsMgr コンソールの オーサリングペイン から有効化されていることを確認します。 	Dell シャーシ監視機能
プログラムの追加と削除 または プログラムのアンインストールと変更 から Dell Server Management Pack バージョン 6.0 の 修復 オプションを実行している間にエラーが発生した。	インストーラの 修復 オプションを使用してください。詳細に関しては、『Microsoft System Center Operations Manager 向け Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.0 インストールガイド』の「インストーラの修復オプションの使用」の項を参照してください。	Dell Server Management Pack Suite
Dell エージェントフリー監視機能によって検出された Dell サーバーが、Dell エージェントフ	この問題を解決するには、次の手順を実行してください。	Dell Server Management Pack Suite

問題	解決策	対象
<p>リーライセンスの削除後もリストされる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. スタート → ファイル名を指定して実行 をクリックします。 2. コマンドプロンプトにコマンド DcomCnfg を入力して、DCOM 設定 ウィンドウを開きます。 3. コンポーネントサービス → コンピュータ → マイコンピュータ → COM+ アプリケーション → Dell Device Helper と展開します。 4. Dell Device Helper を右クリックして、シャットダウン をクリックします。 5. Dell Device Helper を右クリックして、起動 をクリックします。 	
<p>CMC デバイスの検出中に応答の遅延が発生した場合は、デバイスからの最新情報がアップデートされない、スクリプトタイムアウトエラーが生成される、または一時フォルダ内のログファイルがクリアされません。</p>	<p>応答の遅延が発生している CMC デバイスの 上書きプロパティ 画面で スクリプトタイムアウト 値を増やしてください。上書きの詳細に関しては、technet.microsoft.com にある OpsMgr マニュアルを参照してください。</p>	Dell シャーシ監視機能
<p>機能管理ホストサーバー正常性サービスがダウンする。</p>	<p>選択した管理サーバーの動作が停止した場合、実行された機能管理タスクが失敗します。選択した管理サーバーが破損している、または正常性サービスを取得できないといった状況下では、管理サーバーを廃棄して古いオブジェクトを削除します。詳細については、technet.microsoft.com/en-us/library/hh456439.aspx を参照して下さい。</p> <p>残りの管理サーバーから管理サーバーを選択して、機能管理ホスト検出の FMPHostFQDN を上書きします。</p>	Dell Server Management Pack Suite
<p>コンソールの監視 → アラートビュー → サーバーアラートに Dell OM : サーバーおよびそのコンポーネントの正常性計算に失敗 アラートが表示されます。</p>	<p>Run As アカウント を Dell サーバー監視用に手動で関連付けます。詳細については、エージェントフリー監視機能を使用した Dell サーバー監視に対する Run As アカウントの関連付け を参照して下さい。</p>	Dell エージェントフリー監視機能

既知の制限

表 25. 既知の制限

制限	対象
Dell MP、電源制御、および LED タスクは、デフォルトの資格情報のみを使用します。オーサリング ペインで新しいタスクを作成して表示すると、指定したユーザー名とパスワードを確認できません。資格情報は、タスク表示時に非表示にはなりません。	Dell Server Management Pack Suite
正常性エクスペローラの使用中、Server Management Pack Suite (センサーおよび OpenManage Services インスタンスの下) の一部のユニット監視が、サブインスタンスが存在しなくても緑色状態を表示する場合があります。これは、ターゲットクラスが存在し、ユニット監視が実行されたときに、ユニット監視が使用不可状態になることができないためです。	Dell Server Management Pack Suite
センサー下にあるイントルージョンユニット監視状態はシャーン限定であり、ベゼルイントルージョンの正常性は含まれていません。	Dell Server Management Pack Suite

機能管理アラート

Dell Device Helper Utility または Dell Connections License Manager サーバーが正しくインストールされていない場合、またはライセンスサーバーに Dell エージェントフリー監視機能を使用した Dell サーバーの監視に十分なライセンスがない場合、ダッシュボードの機能管理アラートに次のアラートが生成されます。

表 26. 機能管理アラート


アラートテキスト	アラート状態	原因	解決策
Dell FMP: Dell Device Helper Utility が存在しない、または Dell エージェントフリー管理パックとの互換性がありません。	重要	<p>Dell Device Helper Utility バージョン 6.0 が見つからなかったか、Dell Device Helper Utility が破損しています。</p> <p>Dell Device Helper Utility バージョン 6.0 より新しいバージョンが見つかりました。</p> <p>Dell Device Helper Utility バージョン 6.0 より古い</p>	管理サーバー上で Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.0 インストーラを実行してください。

アラートテキスト	アラート状態	原因	解決策
		バージョンが見つかりました。	
Dell FMP : Dell License Server が適切に設定されていません。	重要	Dell Connections License Server が設定されていません。	Dell Connections License Server をインストールして URL を設定してください。詳細に関しては、 Dell Connections License Manager URL の設定 を参照してください。
Dell FMP : Dell License Server が到達不能です。	重要	Dell Connections License Server に接続できません。	Dell Connections License Server URL が正しく設定されていることを確認してください。詳細に関しては、 Dell Connections License Manager URL の設定 を参照してください。 Dell Connections License Server にアクセス可能かどうかを確認してください。
Dell FMP : 機能に対する Dell ライセンスが十分でないか使用できません。	重要	Dell Connections License Server 上にライセンスがありません。 監視機能に対するライセンスの使用が監視制限を超えています。	追加のライセンスを購入して、Dell Connections License Server にインポートしてください。
	警告	監視機能に対するライセンスの使用が、総監視能力の上限に近づいています。	追加のライセンスを購入して、Dell Connections License Server にインポートしてください。
	重要	監視機能のためのライセンスを処理できません。	Dell Connections License Server が正しく設定されていることを確認してください。詳細に関しては、 dell.com \support\manuals の『Dell Connections License Manager バージョン 1.1 ユーザーズガイド』を参照してください。 Dell Connections License Server にアクセス可能かどうかを確認してください。

アラートテキスト	アラート状態	原因	解決策
			Dell Connections License Server からライセンスを取得するためのアクセス権限を確認してください。

付録 B

シンプル認証 Run As アカウントの作成



1. OpsMgr 管理グループの管理者として OpsMgr 2012 にログオンします。
 2. OpsMgr コンソールで、**管理** をクリックします。
 3. **アカウント** を右クリックして、**Run As アカウントの作成** をクリックします。
Run As アカウントの作成ウィザード 画面が表示されます。
 4. **次へ** をクリックします。
 5. **Run As アカウントタイプ** ドロップダウンメニューから、**シンプル認証** を選択します。
 6. **表示名** テキストボックスに表示名を入力します。
 7. **説明** テキストボックスに短い説明を入力して、**次へ** をクリックします。
 8. **資格情報** 画面で、エージェントフリー監視機能を使用して検出するシステムの iDRAC ログイン資格情報を入力します。
 9. **次へ** をクリックします。
 10. 必要に応じて **低セキュリティ** または **高セキュリティ** オプションを選択します。
詳細に関しては、technet.microsoft.com/en-us/library/hh321655.aspx の OpsMgr マニュアルを参照してください。
-  **メモ:** iDRAC ログイン資格情報がシステムごとに異なる場合、それぞれに個別の **Run As アカウント** を作成します。
11. **作成** をクリックします
 12. **Run As アカウント** が作成されたら、**閉じる** をクリックします。

エージェントフリー監視機能を使用した Dell サーバー監視のための Run As アカウントの関連付け

Dell サーバーを監視するには、そのサーバーを検出するために使用された **Run As アカウント** を **SMASH デバイス監視プロファイル内の Dell サーバー** と関連付ける必要があります。管理パックは関連付けを自動で実行しますが、Run As アカウントを手動で関連付けする必要がある場合もあります。

SMASH デバイス監視プロファイル内で Run As アカウントを手動で関連付けるには、次の手順を実行します。






1. OpsMgr 2012 を立ち上げて、**管理** をクリックします。
2. **管理** ペインで、**Run As 設定** → **プロファイル** と移動します。
3. 使用可能なプロファイルのリストから、**SNMP デバイス監視プロファイル** を右クリックし、**プロパティ** をクリックします。
はじめに 画面が表示されます。
4. **次へ** をクリックします。
Run As プロファイルの一般プロパティの指定 画面が表示されます。

5. **次へ** をクリックします。
Run As アカウント 画面が表示されます。
6. **追加** をクリックします。
Run As アカウントの追加 画面が表示されます。
7. **Run As アカウント** ドロップダウンリストから、Dell サーバーの検出に使用した Run As アカウントを選択します。
 **メモ:** デバイスの検出に複数の Run As アカウントを使用している場合は、各デバイスをそれに関連する Run As アカウントに関連付けます。
8. **選択したクラス、グループ、またはオブジェクト** をクリックして、SMASH 監視プロファイルでサーバーの関連付けを追加します。
 - **選択** → **クラス** オプションをクリックし、選択に **Dell サーバー** を使用します。
 - **選択** → **グループ** オプションをクリックし、選択に Dell サーバーオブジェクトを含むグループを使用します。
 - **選択** → **オブジェクト** オプションをクリックし、選択に個々の Dell サーバーオブジェクトを使用します。
9. **OK** をクリックします。
10. **保存** および **閉じる** をクリックします。
 **メモ:** Run As アカウントの関連付けが行われていないと、コンソールの **監視** → **アラートビュー** → **サーバーアラート** に、**Dell OM: サーバーおよびそのコンポーネントの正常性計算に失敗** アラートが表示されます。

重要度レベルのインジケータ

以下の表は、OpsMgr コンソールにおける検出された Dell デバイスの重要度を示すアイコンをリストしています。

表 27. 重要度レベルのインジケータ

アイコン	重大度レベル
	正常 / OK – コンポーネントは正常に動作しています。
	警告 / 非重要 – プローブまたはその他の監視デバイスが、許容レベル以上または以下の読み取り値のコンポーネントを検出しました。コンポーネントが引き続き動作している場合もありますが、故障する可能性があります。正常な機能が損なわれた状態でコンポーネントが動作している可能性もあります。
	重要 / 障害 / エラー – コンポーネントが故障しているか、故障が差し迫った状態です。コンポーネントに対して迅速な対応が必要で、交換が必要な場合もあります。データ損失が発生している可能性があります。
	正常性ステータスは、特定のコンポーネントには適用されません。
	サービスを利用できません。

付録 C - 外部プログラムの有効化タスク

Dell Server Management Pack Suite によって提供される外部プログラムを起動するタスクは、デフォルトの場所にインストールされる必要があります。プログラムがデフォルトの場所にインストールされていない場合は、アプリケーションを起動するために新しいタスクを作成してください。

アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成

アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクは、デフォルトの BMC 資格情報とインストールパス (C:\Program Files\Dell\SysMgt\bmc) を使用します。

システムがデフォルトの BMC 資格情報とインストールパスを使用しない場合は、管理サーバー上に BMU 2.0 以降をインストールして、新しいコンソールタスクを作成します。

△ **注意:** 次の手順では、タスクを作成して、プレーンテキストでパスワードを設定することが必要です。BMC が管理サーバーにインストールされていない場合は、OpsMgr コンソールがダイアログボックス内にコマンド全体とエラーを表示し、パスワードを明らかにすることがあります。このタスクを含む作成済み上書き管理パックをディスクにエクスポートすると、エクスポートされた管理パックを一般的なテキストエディタ、または OpsMgr オーサリングコンソールで開き、パスワードをプレーンテキストで表示することができます。新しいタスクの作成は必要不可欠な場合にのみ行い、続行する前にセキュリティ面を考慮してください。

新しいタスクを作成するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソール を起動して、**オーサリング** をクリックします。
2. **オーサリング** ペインで **管理パックオブジェクト** 下にある **タスク** を右クリックし、**新規タスクの作成** を選択します。
3. **タスクタイプ** 画面で、**コンソールタスク** にある **コマンドライン** を選択します。
4. 宛先の管理パックを選択し、**次へ** をクリックします。
5. **タスク名** および **説明** を入力し、**タスクターゲット** として **Dell Windows サーバー** を選択して、**次へ** をクリックします。
コマンドライン 画面が表示されます。
6. **アプリケーション** フィールドに **ipmitool.exe** アプリケーションのパス (管理サーバー上で BMU がインストールされている場所へのパス) を入力します。
例えば、C:\Program Files\Dell\SysMgt\bmc\ipmitool.exe となります。2 つの LED 識別タスクの場合、アプリケーションパスは C:\Program Files\Dell\SysMgt\bmc\ipmish.exe です (デフォルトの BMU パスは、オペレーティングシステム言語に応じて異なる場合があります)。
7. 電源制御タスクの場合、**パラメータ** フィールドに次の形式でコマンドラインパラメータを入力します。
 - -I lan -H と入力し、ドロップダウンメニューから **IPMI 機能を伴うリモートアクセス IP** を選択します。
 - -U <username> -P <password> -k <kgkey> <IPMI Task String> と入力します。
 - <IPMI Task String> を次のいずれかのオプションと置き換えます。

- power status (電源ステータスの確認 タスクの場合)
- power on (電源オン タスクの場合)
- power soft (正常電源オフ タスクの場合)
- power off (強制電源オフ タスクの場合)
- power cycle (パワーサイクル タスクの場合)
- power reset (電源リセット タスクの場合)
- identify on (LED 識別表示オン タスクの場合)
- identify off (LED 識別表示オフ タスクの場合)

例：

```
-I lan -H $Target/Property[Type="Dell.WindowsServer.Server"]/RemoteAccessIP$
-U root -P <password> -k <kgkey> power status
```

8. LED のオン / オフのタスクについては、次の形式でコマンドラインパラメータを入力します。
 - -ip と入力し、ドロップダウンメニューから the **IPMI 機能でのリモートアクセス IP** を選択します。
 - -u <username> -p <password> -k <kgkey> <IPMI task string> と入力します。
9. **作成** をクリックしてタスクを作成します。作成する新しい BMC タスクごとに、この手順を繰り返します。

License Manager 起動タスクの作成

License Manager 起動タスクは、変更不可のデフォルト Dell License Manager (DLM) インストールパス (%PROGRAMFILES(X86)%\Dell\SysMgt\LicenseManager\Dell.DlmUI.exe または %PROGRAMFILES%\Dell\SysMgt\LicenseManager\Dell.DlmUI.exe) を使用します。

システムがこれらを使用していない場合、管理サーバーに DLM をインストールして、**Dell サーバー用 DLM** でターゲットされる **オーサリング** ペインで新しいコンソールタスクを作成します。

新しいタスクを作成するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールを起動して、**オーサリング** をクリックします。
2. **オーサリング** ペインで **管理パックオブジェクト** 下にある **タスク** を右クリックし、**新規タスクの作成** を選択します。
3. **タスクタイプ** 画面で、**コンソールタスク** にある **コマンドライン** を選択します。
4. 宛先の管理パックを選択し、**次へ** をクリックします。
5. **タスク名** および **説明** を入力し、**タスクターゲット** を以下のいずれかで設定します。
 - Dell Windows サーバー (エージェントベース監視向け)
 - Dell サーバー (エージェントフリー監視向け)
 - Dell iDRAC7 または iDRAC8 (DRAC 監視向け)
6. **次へ** をクリックします。
コマンドライン 画面が表示されます。
7. **アプリケーション** フィールドに、アプリケーションのパス *Dell.DlmUI.exe* (管理サーバー上で DLM がインストールされている場所へのパス) を入力します。
例えば、C:\Program Files\Dell\SysMgt\LicenseManager\Dell.DlmUI.exe となります (デフォルトの DLM パスは、オペレーティングシステムの言語に応じて異なる場合があります)。
8. **作成** をクリックしてタスクを作成します。作成する新しい DLM タスクごとに、この手順を繰り返します。